

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）

第1期 令和2年度～令和7年度 最終評価

第2期 令和8年度～令和13年度 計画策定

令和8年3月
神戸市福祉局暮らし支援課

目次

1. 基本的事項	1
(1) 計画の趣旨	1
(2) 計画期間および事業の実施	2
(3) 第1期計画の最終評価及び第2期計画に向けての検討の経緯	2
(4) 集計対象	2
(5) 本計画における用語の定義	3
2. 神戸市生活保護の状況	4
(1) 被保護者世帯数及び人員の推移	4
(2) 世帯人員別世帯数の推移	5
(3) 世帯類型（構成比）の推移	6
(4) 年齢別被保護人員の推移	7
3. 医療費・疾病の状況	8
(1) 生活保護の医療費等の推移	8
(2) レセプト1件あたり医療費の推移	9
(3) 制度別の1人あたり医療費	10
(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）	11
(5) 疾病別の医療費（疾病中分類）	13
(6) 疾病別の医療費の制度間比較	15
【参考】	18
(7) 生活習慣病の医療費	19
(8) 年代別にみた生活習慣病等の医療費	20
(9) 被保護者の医療機関受診状況	24
(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況	25
(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況	26
(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況	27
(13) 悪性新生物による医療機関受診率	28
(14) 糖尿病と悪性新生物の関係	30
(15) 入院外の1か月間における受診日数	31
(16) 疾病別受診日数の状況	32
(17) 複数医療機関の受診状況	34
(18) 重複処方状況	37
(19) 多剤投与者の状況	39
(20) ジェネリック医薬品の使用状況	40
(21) 入院レセプトの状況	41
4. 健康診査の状況	46
(1) 健康診査の受診状況	46
(2) 有所見者の割合	47
(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況	48
(4) 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況	49
5. 神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画における現状・課題と対応	50

(1) 現状	50
(2) 健康課題と今後の方向性.....	52
6. 計画に基づく保健事業の最終評価.....	54
(1) 健診受診勧奨	54
(2) 医療機関受診勧奨	55
(3) 生活習慣病重症化予防	56
(4) その他適正化の取り組み.....	57
7. データヘルス計画策定時の課題と最終評価を踏まえた今後の方向性.....	58
(1) 健診受診勧奨	58
(2) 医療機関受診勧奨	59
(3) 生活習慣病重症化予防	60
(4) その他適正化の取り組み.....	61
8. データヘルス計画の推進及び計画の見直し	62
(1) 最終評価及び計画の見直し.....	62
(2) 評価及び計画の公表・周知.....	62
(3) 個人情報の保護	62

1. 基本的事項

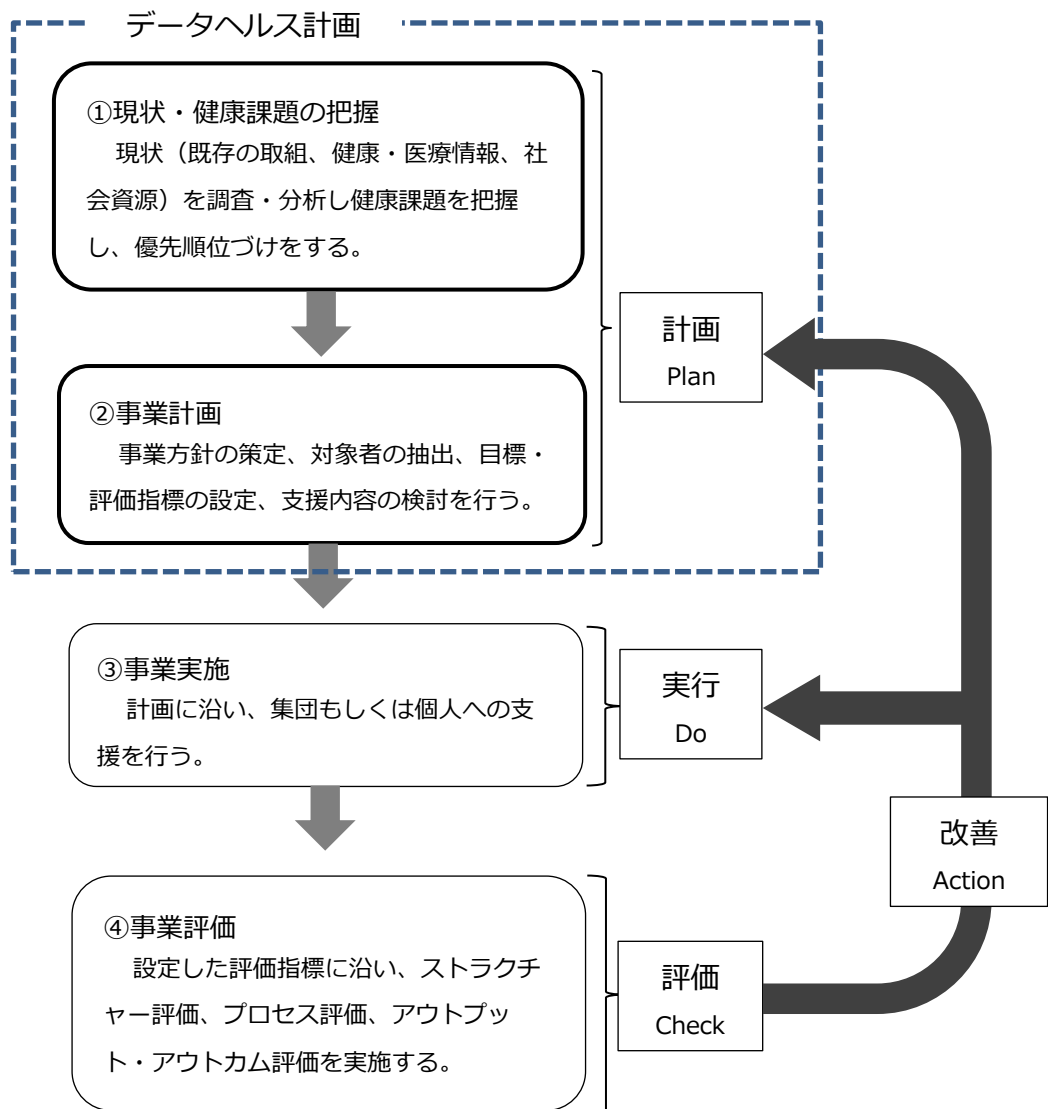
(1) 計画の趣旨

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）は、福祉事務所が生活保護受給者のために、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策を中心に、きめ細かな健康管理支援等が実施できるよう体制を構築し、医療データ分析による課題抽出とその解決に向けた事業を計画・実施することで生活保護受給者の自立と医療扶助適正化を目指すものである。

データに基づいた生活習慣病の予防・重症化予防の推進

- ・生活習慣病の予備群と治療中の者に対するデータに基づく健康管理支援の実施
- ・データヘルス実施のためのインフラの整備、健康・医療データ分析の仕組みの構築

図表1 データヘルス計画におけるPDCAサイクル
全体の流れ図（イメージ）



出典 厚生労働省「被保護者健康管理支援事業の手引き」より作表

(2) 計画期間および事業の実施

第1期データヘルス計画の計画期間は、令和2年度から令和7年度までの6年間とする。

令和元年度	計画策定（現状分析、課題の整理、事業計画および実施目標の設定）
2年度～	事業実施
4年度	中間評価
7年度	事業の達成状況の評価

第2期データヘルス計画の計画期間は、令和8年度から令和13年度までの6年間とする。

令和7年度	計画策定
8年度～	事業実施
10年度	中間評価
13年度	事業の達成状況の評価

(3) 第1期計画の最終評価及び第2期計画に向けての検討の経緯

本年度（令和7年度）はデータヘルス計画の最終評価として、神戸市生活保護医療扶助における医療費や疾病構造、健康診査の現状について確認をした。また、第2期計画の策定に向けて、被保護者健康管理支援にかかるワーキンググループによる検討を行った。

令和7年10月3日	第1回	ワーキングの進め方、最終評価案に関する検討
令和7年12月5日	第2回	最終評価案および次期計画案に関する検討
令和8年3月6日	第3回	最終案のとりまとめ

(4) 集計対象

過去の推移の分析が必要なものについては6年分のレセプト・健康診査結果等、直近の状況の把握が必要なものについては、令和6年度のレセプト・健康診査結果等を集計対象としている。

①集計期間（6年分）

レセプトは、令和元年5月審査～令和7年4月審査までの6年分を診療年月単位で集計

②集計期間（単年度）

4月～3月を1年度としている。また、国保も同様の期間を集計し比較している。

③医療費の集計

疾病別医療費は各レセプトの主たる疾病に集約して計上。そのため、疾病別医療費において重複計上は発生しない。また、社会保険や他公費負担のある者についても、患者の負担割合に関わらず、レセプトの総点数を集計対象としている。但し、他公費負担割合が10割の者については、集計対象外としている。

通常、レセプトには複数の疾病が記載されているため、主傷病となりづらい疾病

は実態よりも少ない医療費となる点に注意が必要である。なお、1人あたり医療費（患者）の場合、主傷病の医療費が高く、患者数が少なくなるため、実態より大きな値となりやすい。

図表によって傷病の分類方法が異なることから、同じ傷病名でも医療費・患者数の集計値に差異が生じる場合がある。

④集計対象の疾病

医療費以外の集計（患者数等）については、特に記載のない限りレセプト内の全疾病（疑い病名を除く）を集計している。

⑤1人あたりの医療費

1人あたりの医療費は、特に記載のない限り、主たる疾病による医療費合計を、主たる疾病の患者数で除して算出している。

⑥患者数

特に記載のない限り、各レセプトの主たる疾病の患者数を「患者数」、各レセプトに記載されているすべての疾病の患者数を「延べ患者数」とする。なお、患者数は集計対象期間（年度、年月単位）での実患者数（名寄せ処理後）とする。

（5）本計画における用語の定義

医療扶助：生活保護単独および社会保険併用・自立支援医療併用による医療扶助
※本計画において、文中では医療費と記載する

国保：神戸市国民健康保険

※本計画において記載している国保医療費は、自立支援医療を含む

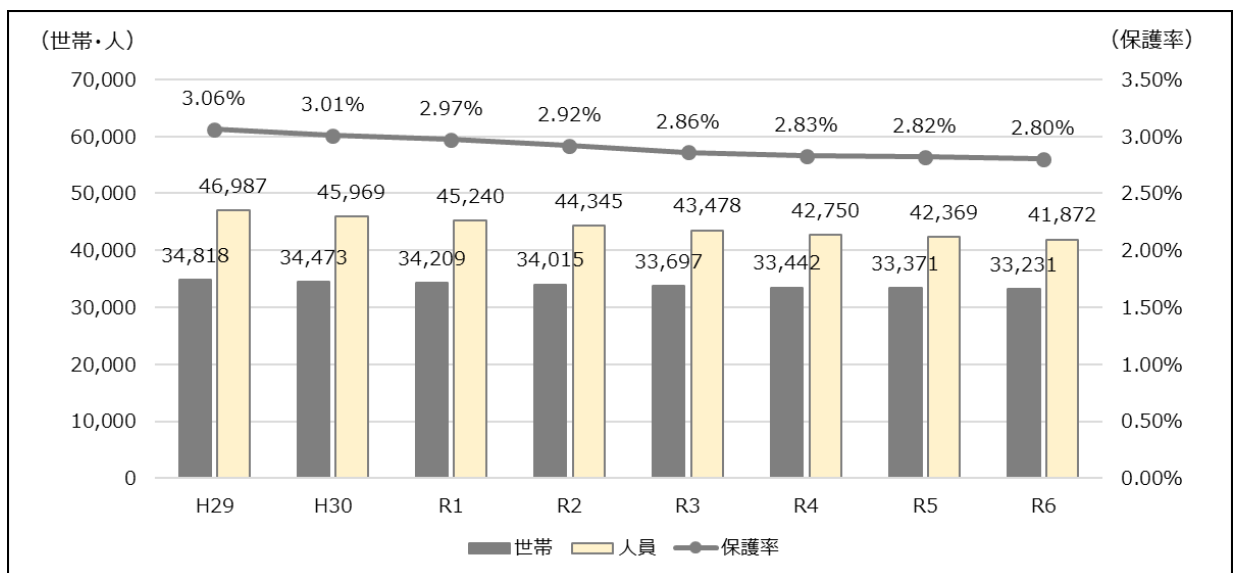
2. 神戸市生活保護の状況

(1) 被保護者世帯数及び人員の推移

神戸市の令和6年の生活保護被保護世帯は33,231世帯、人員は41,872人であり、保護率は2.80%となっている。被保護世帯、人員、保護率ともに平成29年度以降、減少傾向にある。

図表2 被保護者世帯数及び人員の推移

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総人口	世帯	714,794	718,274	722,011	726,204	738,353	743,361	746,144	750,774
	前年比	100.6%	100.5%	100.5%	100.6%	101.7%	100.7%	100.4%	100.6%
	人口	1,533,321	1,528,458	1,523,518	1,518,283	1,520,712	1,512,033	1,501,836	1,493,675
	前年比	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	100.2%	99.4%	99.3%	99.5%
被保護 実数	世帯	34,818	34,473	34,209	34,015	33,697	33,442	33,371	33,231
	前年比	99.6%	99.0%	99.2%	99.4%	99.1%	99.2%	99.8%	99.6%
	人員	46,987	45,969	45,240	44,345	43,478	42,750	42,369	41,872
	前年比	98.3%	97.8%	98.4%	98.0%	98.0%	98.3%	99.1%	98.8%
	保護率	3.06%	3.01%	2.97%	2.92%	2.86%	2.83%	2.82%	2.80%



出典：神戸市における保護動向分析（令和6年）

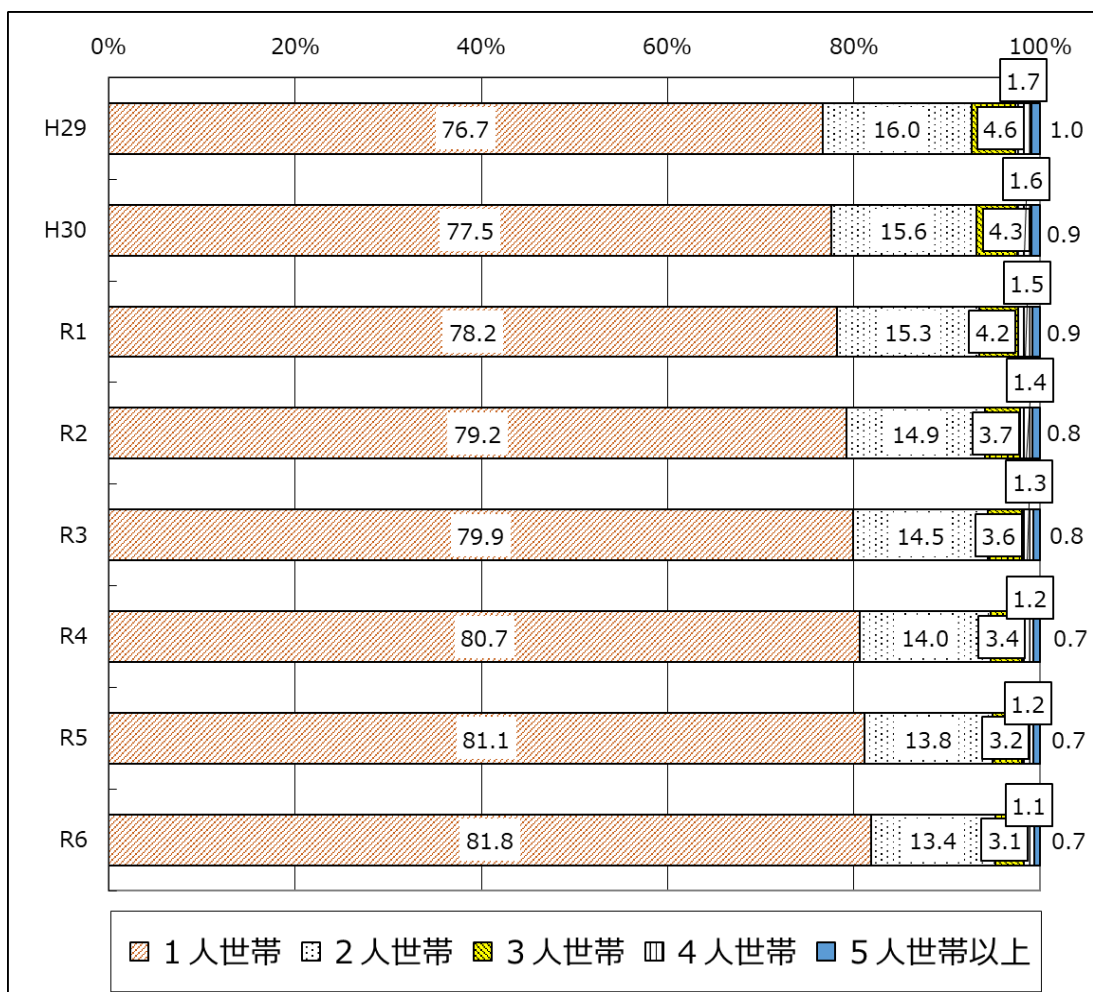
※ 「停止世帯」を含むため、図表3～5と被保護実数（世帯、人員、保護率）は異なる。

(2) 世帯人員別世帯数の推移

令和6年の世帯人員別世帯数では、1人世帯が全体の81.8%を占めている。減少傾向である2～4人世帯割合に対して、1人世帯割合は増加傾向である。

図表3 世帯人員別世帯数の推移

	世帯人員(人)							
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	計
H29	26,253	5,470	1,590	594	225	75	36	34,243
H30	26,282	5,304	1,459	546	207	67	31	33,896
R1	26,291	5,148	1,402	505	189	70	35	33,640
R2	26,420	4,976	1,240	461	177	60	38	33,372
R3	26,340	4,769	1,196	413	154	62	32	32,966
R4	26,568	4,613	1,129	393	153	48	36	32,940
R5	26,904	4,562	1,066	401	158	50	29	33,170
R6	27,025	4,416	1,008	363	153	32	31	33,028



出典：神戸市における保護動向分析（令和6年）

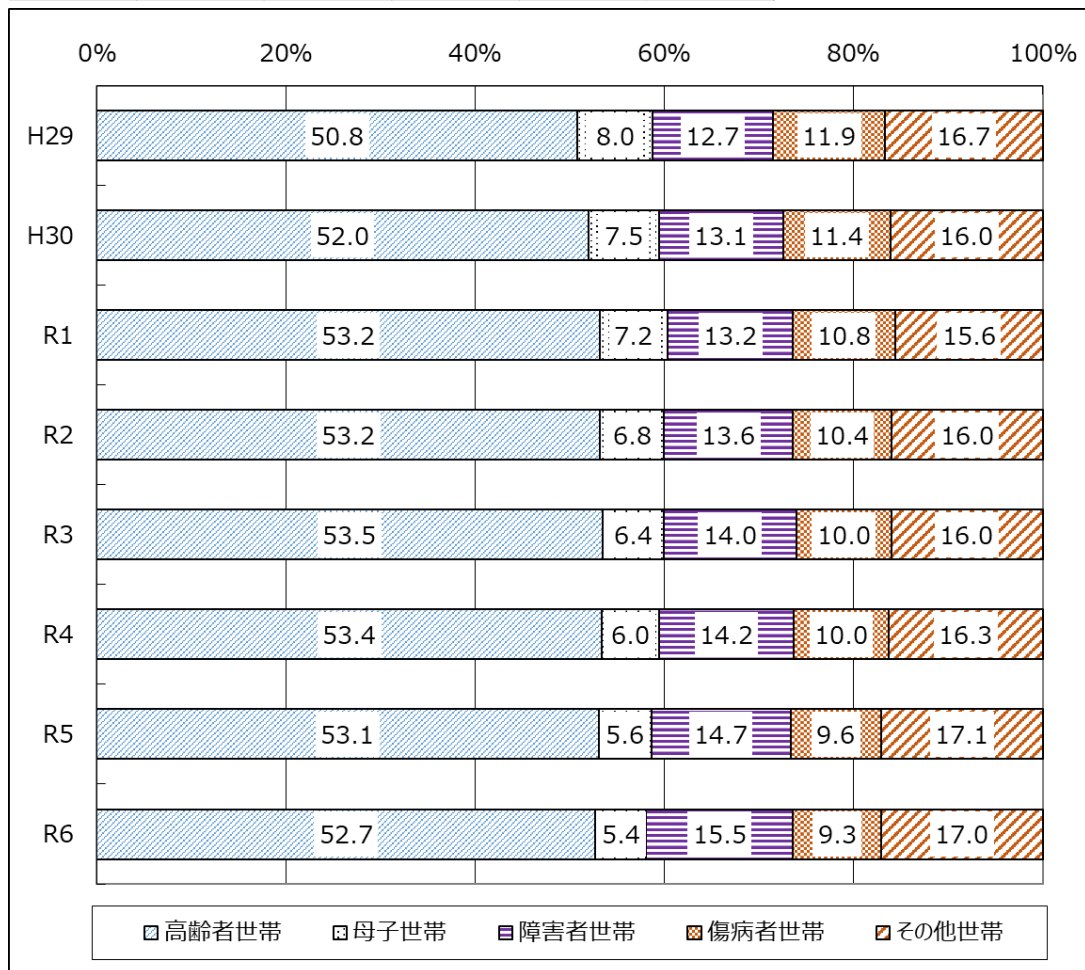
※ 「停止世帯」を除く。

(3) 世帯類型（構成比）の推移

令和6年の世帯類型（構成比）は、高齢者世帯が52.7%と全体の過半数を占める。高齢者世帯は令和3年まで増加傾向となっていたが、令和4年以降は減少傾向である。また、障害者世帯やその他世帯は増加傾向にある一方で、母子世帯や傷病者世帯は減少傾向である。

図表4 世帯類型(構成比)の推移

	世帯類型（構成比(%)）				
	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
H29	50.8	8.0	12.7	11.9	16.7
H30	52.0	7.5	13.1	11.4	16.0
R1	53.2	7.2	13.2	10.8	15.6
R2	53.2	6.8	13.6	10.4	16.0
R3	53.5	6.4	14.0	10.0	16.0
R4	53.4	6.0	14.2	10.0	16.3
R5	53.1	5.6	14.7	9.6	17.1
R6	52.7	5.4	15.5	9.3	17.0



出典：神戸市における保護動向分析（令和6年）

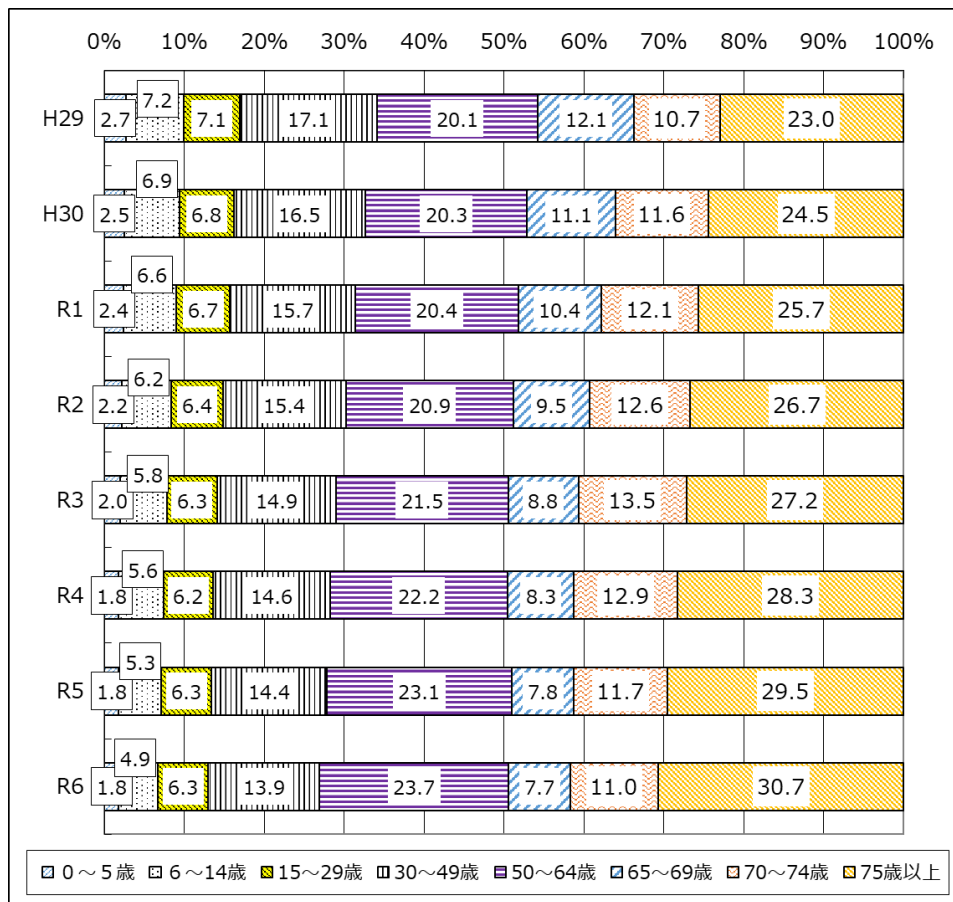
※ 「停止世帯」を除く。

(4) 年齢別被保護人員の推移

令和6年の年齢別被保護人員は、65歳以上が49.4%と全体の約半数近くを占める。65歳以上が占める割合は令和3年までは増加傾向となっていたが、それ以降は横ばいである。さらに、50～64歳・75歳以上は人数・割合ともに毎年増加傾向となっている。その他の年代の割合は相対的に減少傾向である。

図表5 年齢別被保護人員構成比の推移

	年齢別（人）								計
	0～5歳	6～14歳	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
H29	1,259	3,315	3,290	7,885	9,264	5,573	4,957	10,619	46,162
H30	1,106	3,092	3,057	7,440	9,136	5,018	5,230	11,033	45,112
R1	1,068	2,937	2,960	6,987	9,046	4,619	5,371	11,434	44,422
R2	940	2,705	2,772	6,694	9,090	4,150	5,492	11,614	43,457
R3	838	2,485	2,695	6,342	9,138	3,728	5,727	11,545	42,498
R4	750	2,343	2,627	6,172	9,366	3,510	5,427	11,936	42,131
R5	753	2,256	2,656	6,109	9,786	3,322	4,977	12,519	42,378
R6	741	2,068	2,647	5,818	9,912	3,224	4,597	12,865	41,872



出典：神戸市における保護動向分析（各年度）

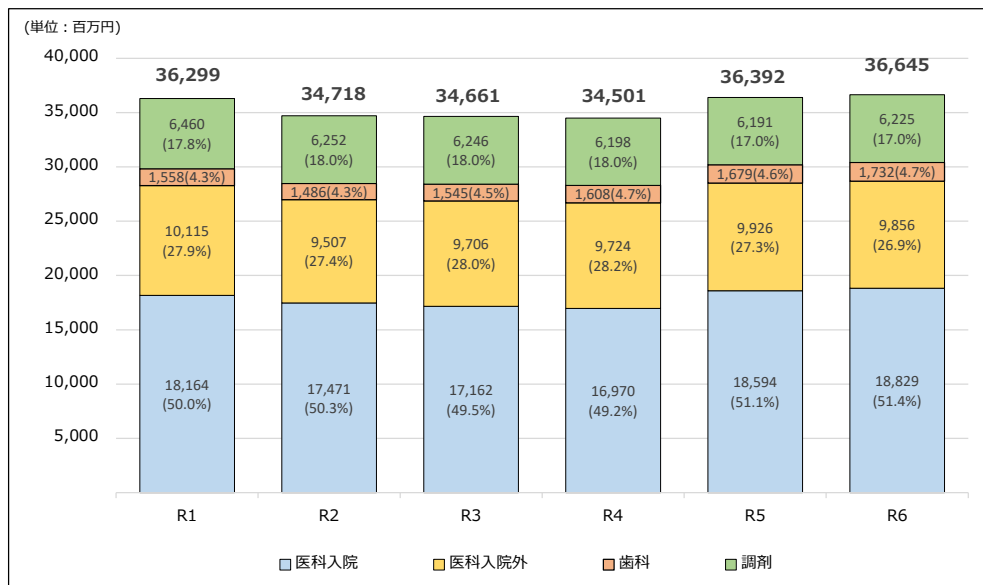
※ 令和4年以前、「停止世帯」を除く。

3. 医療費・疾病の状況

(1) 生活保護の医療費等の推移

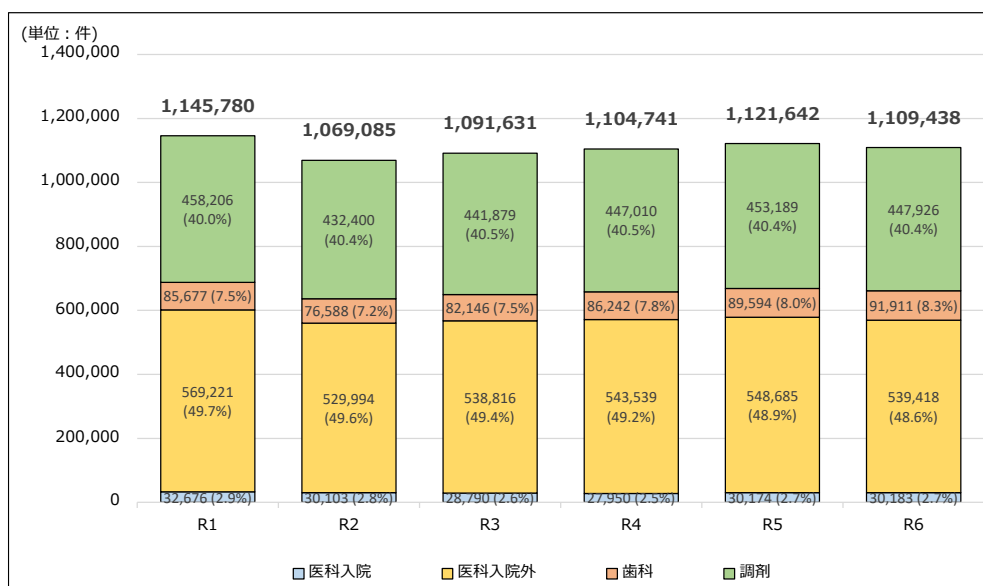
令和6年度の医療費総額は約366億円であり、令和1年と比較して増加している。また、レセプト件数は約111万件であり、令和1年と比較して減少している。令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診控えが影響し、医療費やレセプト件数が減少したと考えられる。医療費の内訳をみると令和1年と比較し医科入院は増加している一方で、医科入院外は減少している。レセプト件数の内訳は、医科入院外・調剤がほとんどを占めるが、件数は減少傾向にあり、歯科の件数が増加している。

図表6 医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

図表7 レセプト件数の推移

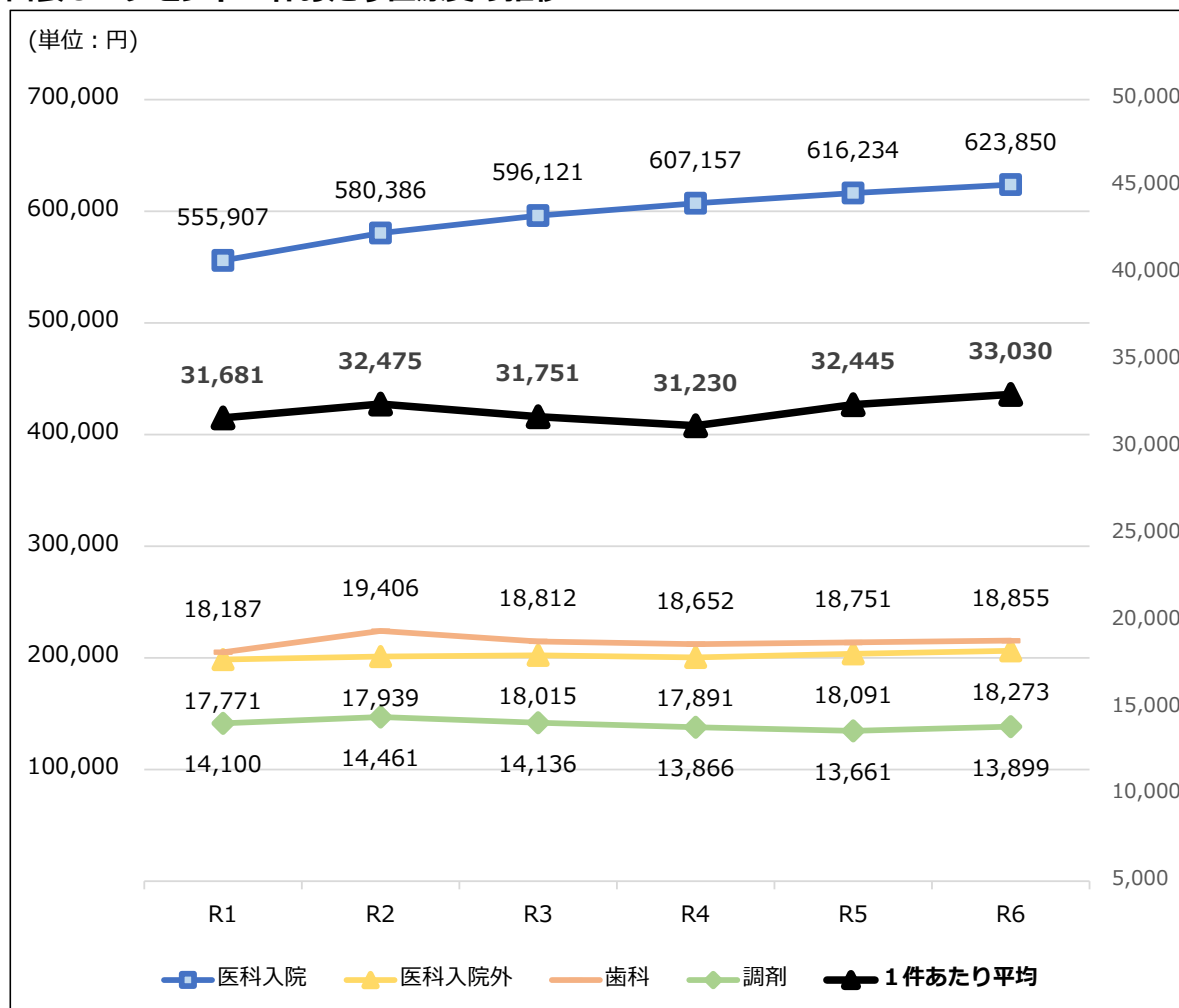


集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(2) レセプト 1 件あたり医療費の推移

レセプト 1 件あたり平均は、32,000 円前後を推移している。内訳として、医科入院が増加傾向である。

図表 8 レセプト 1 件あたり医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(3) 制度別の1人あたり医療費

令和6年度の生活保護と国保(神戸市)の1人あたり医療費を比較すると、生活保護(75歳未満)は国保の約1.7倍であった。また、令和元年度と比較し、生活保護の1人あたり医療費は、20歳未満、30～34歳、40歳以上で増加している。

図表9 制度別の1人あたり医療費(年代別)

	年代	R6		R1		後期(R4) 被保険者1人あたり 医療費 (兵庫県)
		生活保護	国保 (神戸市)	生活保護	国保 (神戸市)	
75歳未満	0歳～	227,084	208,405	166,120	180,366	—
	5歳～	138,638	136,066	136,519	103,614	—
	10歳～	119,088	124,550	99,803	103,775	—
	15歳～	135,447	126,467	104,153	91,799	—
	20歳～	255,739	109,915	263,098	86,100	—
	25歳～	282,928	131,150	300,948	110,739	—
	30歳～	408,170	181,153	285,962	162,705	—
	35歳～	341,097	236,790	451,506	216,697	—
	40歳～	498,915	276,072	449,561	246,104	—
	45歳～	632,086	346,326	566,319	297,712	—
	50歳～	695,828	386,224	690,978	339,818	—
	55歳～	834,406	443,097	821,538	417,814	—
	60歳～	933,864	478,304	883,364	454,135	—
	65歳～	1,020,964	515,360	913,360	476,288	—
	70歳～	1,076,557	632,002	1,019,927	570,567	—
	75歳未満平均	696,512	414,290	645,098	380,736	—
75歳以上	75歳～	1,235,237	—	1,183,612	—	849,182

集計対象：レセプトデータ(生活保護)

レセプトデータ(国保)

出典：兵庫県後期高齢者医療広域連合 データヘルス計画に基づく医療費等分析(後期)

(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）

令和6年度の疾病大分類別の医療費は、「循環器系の疾患」、「新生物〈腫瘍〉」、「精神及び行動の障害」の順に高額であった。

また、有病率は「消化器系の疾患」（70.7%）、「呼吸器系の疾患」（65.2%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（63.0%）及び「内分泌・代謝」（63.0%）の順に高い。

図表 10 疾病大分類別医療費

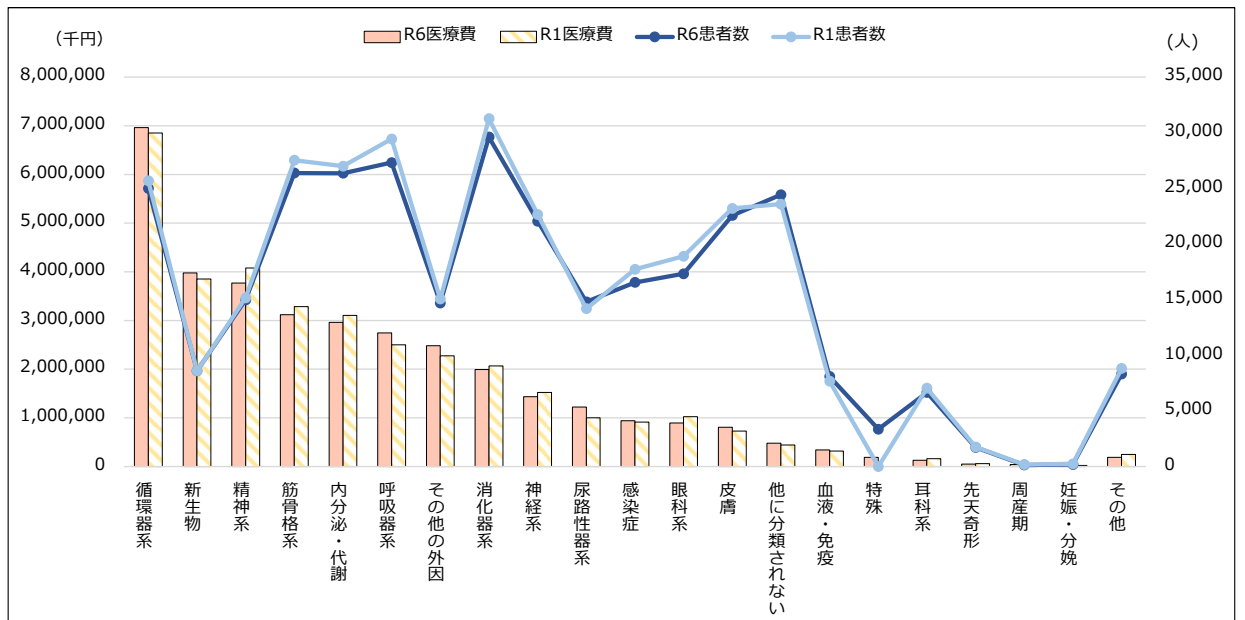
順位	R6		R1	
	大分類名	医療費(千円)	大分類名	医療費(千円)
1	循環器系の疾患	6,962,045	循環器系の疾患	6,853,690
2	新生物〈腫瘍〉	3,978,059	精神及び行動の障害	4,079,899
3	精神及び行動の障害	3,770,693	新生物〈腫瘍〉	3,851,773
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	3,120,707	筋骨格系及び結合組織の疾患	3,285,927
5	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,961,572	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,104,944
6	呼吸器系の疾患	2,744,310	呼吸器系の疾患	2,502,171
7	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,479,852	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,275,727
8	消化器系の疾患	1,993,487	消化器系の疾患	2,067,433
9	神経系の疾患	1,434,148	神経系の疾患	1,519,812
10	腎尿路生殖器系の疾患	1,219,587	眼及び付属器の疾患	1,023,879
11	感染症及び寄生虫症	941,615	腎尿路生殖器系の疾患	1,002,644
12	眼及び付属器の疾患	893,033	感染症及び寄生虫症	911,464
13	皮膚及び皮下組織の疾患	808,629	皮膚及び皮下組織の疾患	729,041
14	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	478,058	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	441,742
15	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	342,430	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	315,954
16	特殊目的用コード	187,864	耳及び乳様突起の疾患	159,556
17	耳及び乳様突起の疾患	130,380	先天奇形、変形及び染色体異常	58,182
18	先天奇形、変形及び染色体異常	51,998	周産期に発生した病態	48,255
19	周産期に発生した病態	38,975	妊娠、分娩及び産じょく	21,071
20	妊娠、分娩及び産じょく	14,398	特殊目的用コード	0
-	その他・未分類	190,156	その他・未分類	246,229

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 特殊目的コードには、主に新型コロナウイルス感染症が含まれる。

図表 11 疾病大分類別医療費等

順位	R6					推移	R1			
	大分類名 略称	医療費(千円)	延べ患者数	有病率	大分類名 略称		医療費(千円)	延べ患者数	有病率	
1	循環器系	6,962,045	24,996	59.7%	→	循環器系	6,853,690	25,684	56.8%	
2	新生物	3,978,059	8,602	20.5%	↑	精神系	4,079,899	15,160	33.5%	
3	精神系	3,770,693	14,981	35.8%	↓	新生物	3,851,773	8,596	19.0%	
4	筋骨格系	3,120,707	26,374	63.0%	→	筋骨格系	3,285,927	27,533	60.9%	
5	内分泌・代謝	2,961,572	26,362	63.0%	→	内分泌・代謝	3,104,944	26,991	59.7%	
6	呼吸器系	2,744,310	27,313	65.2%	→	呼吸器系	2,502,171	29,441	65.1%	
7	その他の外因	2,479,852	14,699	35.1%	→	その他の外因	2,275,727	15,047	33.3%	
8	消化器系	1,993,487	29,604	70.7%	→	消化器系	2,067,433	31,262	69.1%	
9	神経系	1,434,148	22,048	52.7%	→	神経系	1,519,812	22,650	50.1%	
10	尿路器系	1,219,587	14,796	35.3%	↑	眼科系	1,023,879	18,902	41.8%	
11	感染症	941,615	16,545	39.5%	↑	尿路器系	1,002,644	14,188	31.4%	
12	眼科系	893,033	17,321	41.4%	↓	感染症	911,464	17,730	39.2%	
13	皮膚	808,629	22,564	53.9%	→	皮膚	729,041	23,198	51.3%	
14	他に分類されない	478,058	24,427	58.3%	→	他に分類されない	441,742	23,584	52.1%	
15	血液・免疫	342,430	8,088	19.3%	→	血液・免疫	315,954	7,665	16.9%	
16	特殊	187,864	3,348	8.0%	↑	耳科系	159,556	7,041	15.6%	
17	耳科系	130,380	6,655	15.9%	↓	先天奇形	58,182	1,761	3.9%	
18	先天奇形	51,998	1,717	4.1%	↓	周産期	48,255	171	0.4%	
19	周産期	38,975	134	0.3%	↓	妊娠・分娩	21,071	242	0.5%	
20	妊娠・分娩	14,398	184	0.4%	↓	特殊		0	0.0%	
	その他	190,156	8,314	19.9%	—	その他	246,229	8,815	19.5%	



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の疾病名をすべて集計対象としている。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 4 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

(5) 疾病別の医療費（疾病中分類）

令和6年度の疾病中分類別の入院・入院外をあわせた医療費は、「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「高血圧性疾患」「糖尿病」の順に高額であった。

入院・入院外別でみると、入院では「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「骨折」「その他の心疾患」の順で高額となっているほか、「脳梗塞」「虚血性心疾患」などの生活習慣病の重症化からおこる疾患も上位を占める。一方で、入院外では「高血圧性疾患」「糖尿病」「その他心疾患」などの生活習慣病が上位を占め、「脳梗塞」も医療費が上昇している。

図表 12 疾病中分類別医療費等（入院+入院外）

順位	R6				R1		
	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)	推移	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	2,033,201	4,546	↑	高血圧性疾患	2,295,316	20,801
2	高血圧性疾患	2,003,606	20,598	↓	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	2,110,541	3,879
3	糖尿病	1,797,883	13,443	→	糖尿病	2,008,345	13,519
4	骨折	1,786,590	5,386	→	骨折	1,571,817	4,998
5	その他の心疾患	1,680,107	13,408	→	その他の心疾患	1,373,228	12,830
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,200,982	2,382	→	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,150,056	2,305
7	脳梗塞	1,151,958	4,729	→	脳梗塞	1,146,643	5,313
8	脊椎障害（脊椎症を含む）	859,393	10,983	→	脊椎障害（脊椎症を含む）	1,011,466	11,641
9	その他の呼吸器系の疾患	851,989	8,868	↑	虚血性心疾患	799,074	6,768
10	その他の消化器系の疾患	827,292	25,516	→	その他の消化器系の疾患	784,465	26,185
11	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	773,198	810	→	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	647,353	641
12	虚血性心疾患	769,991	6,312	↓	その他の呼吸器系の疾患	621,705	8,232
13	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	639,558	13,377	↑	その他の神経系の疾患	607,036	20,945
14	その他の神経系の疾患	602,021	20,490	↓	関節症	583,612	10,421
15	関節症	588,861	10,813	↓	喘息	556,852	9,664
16	脂質異常症	528,549	17,346	↑	アルツハイマー病	551,949	1,979
17	肺炎	511,541	2,641	↑	脂質異常症	537,654	17,228
18	喘息	503,148	9,257	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	530,668	12,720
19	アルツハイマー病	491,386	1,905	↓	その他の損傷及びその他の外因の影響	485,683	11,929
20	慢性閉塞性肺疾患	484,152	5,582	↑	ウイルス性肝炎	469,306	2,511

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

図表 13 疾病中分類別医療費等（入院）

順位	R6			推移	R1		
	中分類名	医療費 (千円)	延べ患者数 (人)		中分類名	医療費 (千円)	延べ患者数 (人)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1,957,338	1,765	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,043,043	1,723
2	骨折	1,612,678	1,445	→	骨折	1,409,659	1,342
3	その他の心疾患	1,095,633	3,223	→	その他の心疾患	957,919	3,059
4	脳梗塞	815,869	1,384	→	脳梗塞	846,504	1,499
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	702,367	848	→	その他の悪性新生物<腫瘍>	676,344	873
6	その他の呼吸器系の疾患	681,148	2,205	↑	糖尿病	521,521	2,954
7	その他の消化器系の疾患	533,988	5,748	↑	その他の呼吸器系の疾患	501,855	2,072
8	肺炎	489,264	1,243	↑	虚血性心疾患	496,527	1,634
9	虚血性心疾患	477,012	1,391	↓	その他の消化器系の疾患	448,681	6,139
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	447,222	2,561	↑	肺炎	442,157	1,299
11	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	423,336	380	↑	脊椎障害(脊椎症を含む)	418,364	1,257
12	脊椎障害(脊椎症を含む)	367,327	1,060	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	394,796	402
13	糖尿病	361,075	2,816	↓	アルツハイマー病	378,605	647
14	その他の循環器系の疾患	354,294	1,064	↑	脳内出血	369,511	246
15	その他の感染症及び寄生虫症	345,637	940	↑	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	346,565	308
16	脳内出血	341,587	245	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	337,678	1,960
17	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	336,439	3,655	↑	血管性及び詳細不明の認知症	334,440	806
18	腎不全	325,647	1,256	↑	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	319,775	3,526
19	その他の神経系の疾患	310,550	4,003	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	293,950	1,790
20	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	310,408	1,664	→	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	290,521	1,438

図表 14 疾病中分類別医療費等（入院外）

順位	R6			推移	R1		
	中分類名	医療費 (千円)	延べ患者数 (人)		中分類名	医療費 (千円)	延べ患者数 (人)
1	高血圧性疾患	1,774,546	19,951	→	高血圧性疾患	2,066,506	20,035
2	糖尿病	1,436,809	13,013	→	糖尿病	1,486,824	13,054
3	その他の心疾患	584,474	12,557	↑	脊椎障害(脊椎症を含む)	593,102	11,276
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	498,615	2,164	↑	脂質異常症	515,685	16,886
5	脊椎障害(脊椎症を含む)	492,065	10,655	↓	喘息	481,799	9,470
6	脂質異常症	488,984	16,984	↓	その他の悪性新生物<腫瘍>	473,712	2,098
7	喘息	458,318	9,068	↓	その他の心疾患	415,309	11,900
8	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	349,862	702	↑	ウイルス性肝炎	394,714	2,369
9	脳梗塞	336,089	4,253	↑	屈折及び調節の障害	369,214	14,238
10	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	329,937	16,255	↑	関節症	360,909	10,241
11	屈折及び調節の障害	327,813	13,065	↓	その他の消化器系の疾患	335,784	24,725
12	関節症	323,960	10,616	↓	胃炎及び十二指腸炎	330,050	16,249
13	胃炎及び十二指腸炎	311,123	14,812	↓	その他の神経系の疾患	326,034	19,675
14	炎症性多発性関節障害	299,114	4,565	↑	その他の眼及び付属器の疾患	303,089	14,084
15	その他の消化器系の疾患	293,304	24,333	↓	虚血性心疾患	302,546	6,412
16	虚血性心疾患	292,978	6,009	↓	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	300,788	565
17	その他の神経系の疾患	291,471	19,369	↓	脳梗塞	300,139	4,770
18	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されない	286,442	23,264	↑	炎症性多発性関節障害	299,952	4,585
19	その他の眼及び付属器の疾患	281,005	13,357	↓	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	286,398	15,538
20	ウイルス性肝炎	278,356	1,852	↓	慢性閉塞性肺疾患	240,877	5,264

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の疾病名をすべて集計対象としている。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 4 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

(6) 疾病別の医療費の制度間比較

疾病中分類別の医療費を、国保医療費と比較したところ、ほとんどの疾病中分類で、生活保護の方が1人あたりの医療費と有病率が高かった。

1人あたり医療費は、「統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害」「気管,気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」「その他の悪性新生物<腫瘍>」が高値となっている。入院では、「統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害」「脳内出血」「脳梗塞」の順に高く、入院外では「気管,気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」「その他の悪性新生物<腫瘍>」「ウイルス性肝炎」の順に高い。

図表 15 疾病中分類医療費 (入院+入院外)
(令和6年度)

順位	中分類名	推移	【生保】 R6 : 41,872人				【国保】 R6 : 275,661人			
			医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	↑	2,033,201	1,270	1,600,945	3.0%	4,478,595	4,999	895,898	1.8%
2	高血圧性疾患	↓	2,003,606	8,364	239,551	20.0%	4,743,709	44,192	107,343	16.0%
3	糖尿病	→	1,797,883	4,998	359,721	11.9%	4,302,516	18,700	230,081	6.8%
4	骨折	→	1,786,590	2,516	710,091	6.0%	2,629,165	8,987	292,552	3.3%
5	その他の心疾患	→	1,680,107	2,926	574,199	7.0%	3,733,082	9,739	383,313	3.5%
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	→	1,200,982	1,553	773,331	3.7%	6,097,883	8,939	682,166	3.2%
7	脳梗塞	→	1,151,958	2,012	572,544	4.8%	1,907,186	5,686	335,418	2.1%
8	脊椎障害(脊椎症を含む)	→	859,393	3,991	215,333	9.5%	1,704,217	13,734	124,087	5.0%
9	その他の呼吸器系の疾患	↑	851,989	2,380	357,978	5.7%	1,629,704	14,169	115,019	5.1%
10	その他の消化器系の疾患	→	827,292	3,316	249,485	7.9%	3,413,229	19,982	170,815	7.2%
11	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	→	773,198	654	1,182,260	1.6%	2,217,028	2,705	819,604	1.0%
12	虚血性心疾患	↓	769,991	1,643	468,649	3.9%	1,860,399	6,193	300,403	2.2%
13	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	↑	639,558	2,301	277,948	5.5%	1,996,010	14,241	140,159	5.2%
14	その他の神経系の疾患	↓	602,021	2,325	258,934	5.6%	3,220,645	11,674	275,882	4.2%
15	関節症	↓	588,861	2,860	205,896	6.8%	2,517,868	15,516	162,276	5.6%
16	脂質異常症	↑	528,549	2,687	196,706	6.4%	2,080,582	22,256	93,484	8.1%
17	肺炎	↑	511,541	909	562,751	2.2%	616,839	3,107	198,532	1.1%
18	喘息	↓	503,148	2,924	172,075	7.0%	1,206,456	16,919	71,308	6.1%
19	アルツハイマー病	↓	491,386	833	589,899	2.0%	264,661	628	421,434	0.2%
20	慢性閉塞性肺疾患	↑	484,152	932	519,476	2.2%	303,036	2,084	145,411	0.8%

(令和元年度)

順位	中分類名	【生保】 R1 : 45,240人				【国保】 R1 : 319,029人			
		医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	高血圧性疾患	2,295,316	8,354	274,756	18.5%	6,706,978	50,534	132,722	15.8%
2	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,110,541	1,350	1,563,364	3.0%	5,347,835	5,310	1,007,125	1.7%
3	糖尿病	2,008,345	4,875	411,968	10.8%	5,219,002	20,927	249,391	6.6%
4	骨折	1,571,817	2,443	643,396	5.4%	2,483,594	9,171	270,810	2.9%
5	その他の心疾患	1,373,228	2,366	580,401	5.2%	3,504,470	9,258	378,534	2.9%
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,150,056	1,577	729,268	3.5%	6,509,807	10,460	622,353	3.3%
7	脳梗塞	1,146,643	2,071	553,666	4.6%	2,206,893	6,899	319,886	2.2%
8	脊椎障害(脊椎症を含む)	1,011,466	4,259	237,489	9.4%	1,938,648	16,257	119,250	5.1%
9	虚血性心疾患	799,074	1,691	472,545	3.7%	2,402,421	6,544	367,118	2.1%
10	その他の消化器系の疾患	784,465	3,531	222,165	7.8%	3,242,037	22,568	143,656	7.1%
11	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	647,353	657	985,317	1.5%	2,989,277	3,195	935,611	1.0%
12	その他の呼吸器系の疾患	621,705	2,332	266,597	5.2%	1,608,406	14,927	107,751	4.7%
13	その他の神経系の疾患	607,036	2,439	248,887	5.4%	2,734,674	12,403	220,485	3.9%
14	関節症	583,612	2,899	201,315	6.4%	2,384,064	17,063	139,721	5.3%
15	喘息	556,852	2,959	188,189	6.5%	1,194,291	16,346	73,063	5.1%
16	アルツハイマー病	551,949	739	746,887	1.6%	336,114	775	433,696	0.2%
17	脂質異常症	537,654	2,328	230,951	5.1%	2,607,625	23,559	111,633	7.3%
18	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	530,668	2,390	222,037	5.3%	1,768,356	15,647	113,016	4.9%
19	その他の損傷及びその他の外因の影響	485,683	4,206	115,474	9.3%	1,651,298	25,302	65,264	7.9%
20	ウイルス性肝炎	469,306	1,040	451,256	2.3%	1,002,966	3,985	251,685	1.2%

集計対象：レセプトデータ(生活保護)

図表 16 疾病中分類医療費等（入院）

（令和6年度）

順位	中分類名	推移	【生保】 R6 : 41,872人				【国保】 R6 : 275,661人			
			医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	→	1,957,338	596	3,284,124	1.4%	3,432,984	936	3,667,718	0.3%
2	骨折	→	1,612,678	920	1,752,911	2.2%	2,121,793	1,608	1,319,523	0.6%
3	その他の心疾患	→	1,095,633	653	1,677,845	1.6%	2,398,073	1,128	2,125,951	0.4%
4	脳梗塞	→	815,869	335	2,435,431	0.8%	1,419,601	639	2,221,597	0.2%
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	→	702,367	435	1,614,637	1.0%	2,956,800	1,891	1,563,617	0.7%
6	その他の呼吸器系の疾患	↑	681,148	559	1,218,511	1.3%	1,017,039	903	1,126,289	0.3%
7	その他の消化器系の疾患	↑	533,988	729	732,494	1.7%	1,561,838	2,395	652,124	0.9%
8	肺炎	↑	489,264	525	931,931	1.3%	542,988	732	741,786	0.3%
9	虚血性心疾患	↓	477,012	306	1,558,863	0.7%	1,123,577	843	1,332,832	0.3%
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	↑	447,222	314	1,424,273	0.7%	901,915	560	1,610,562	0.2%
11	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	↑	423,336	223	1,898,369	0.5%	974,332	530	1,838,361	0.2%
12	脊椎障害（脊椎症を含む）	↓	367,327	209	1,757,548	0.5%	843,985	465	1,815,021	0.2%
13	糖尿病	↓	361,075	344	1,049,636	0.8%	500,532	541	925,197	0.2%
14	その他の循環器系の疾患	↑	354,294	159	2,228,266	0.4%	986,919	416	2,372,401	0.2%
15	その他の感染症及び寄生虫症	↑	345,637	213	1,622,711	0.5%	590,523	384	1,537,821	0.1%
16	脳内出血	↓	341,587	115	2,970,323	0.3%	1,205,411	340	3,545,326	0.1%
17	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	↑	336,439	414	812,655	1.0%	364,603	445	819,333	0.2%
18	腎不全	↑	325,647	264	1,233,513	0.6%	584,712	420	1,392,171	0.2%
19	その他の神経系の疾患	↑	310,550	229	1,356,112	0.5%	1,537,075	804	1,911,785	0.3%
20	気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	→	310,408	172	1,804,698	0.4%	639,750	299	2,139,632	0.1%

（令和元年度）

順位	中分類名	【生保】 R1 : 45,240人				【国保】 R1 : 319,029人			
		医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,043,043	685	2,982,544	1.5%	4,194,868	1,219	3,441,237	0.4%
2	骨折	1,409,659	854	1,650,654	1.9%	1,945,076	1,619	1,201,406	0.5%
3	その他の心疾患	957,919	593	1,615,378	1.3%	2,382,062	1,249	1,907,175	0.4%
4	脳梗塞	846,504	400	2,116,261	0.9%	1,680,282	857	1,960,656	0.3%
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	676,344	484	1,397,405	1.1%	3,548,039	2,397	1,480,200	0.8%
6	糖尿病	521,521	519	1,004,857	1.1%	656,073	746	879,454	0.2%
7	その他の呼吸器系の疾患	501,855	455	1,102,978	1.0%	879,952	851	1,034,021	0.3%
8	虚血性心疾患	496,527	440	1,128,471	1.0%	1,614,432	1,302	1,239,963	0.4%
9	その他の消化器系の疾患	448,681	723	620,583	1.6%	1,530,770	2,948	519,257	0.9%
10	肺炎	442,157	518	853,586	1.1%	485,546	684	709,862	0.2%
11	脊椎障害（脊椎症を含む）	418,364	281	1,488,838	0.6%	872,547	539	1,618,826	0.2%
12	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	394,796	213	1,853,502	0.5%	316,803	211	1,501,435	0.1%
13	アルツハイマー病	378,605	150	2,524,032	0.3%	210,480	91	2,312,972	0.0%
14	脳内出血	369,511	129	2,864,425	0.3%	1,139,908	333	3,423,146	0.1%
15	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	346,565	217	1,597,076	0.5%	1,246,101	664	1,876,659	0.2%
16	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	337,678	258	1,308,830	0.6%	765,898	563	1,360,387	0.2%
17	血管性及び詳細不明の認知症	334,440	131	2,552,975	0.3%	160,706	59	2,723,828	0.0%
18	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	319,775	428	747,138	0.9%	383,393	493	777,674	0.2%
19	その他の損傷及びその他の外因の影響	293,950	326	901,687	0.7%	832,836	925	900,363	0.3%
20	気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	290,521	186	1,561,942	0.4%	730,302	336	2,173,518	0.1%

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載のある主たる疾病名をすべて集計対象としている。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 4 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。
- ※ 5 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

図表 17 疾病中分類医療費等（入院外）
（令和6年度）

順位	中分類名	推移	【生保】 R6 : 41,872人				【国保】 R6 : 275,661人			
			医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	高血圧性疾患	→	1,774,546	8,317	213,364	19.9%	4,597,591	44,154	104,126	16.0%
2	糖尿病	→	1,436,809	4,892	293,706	11.7%	3,801,985	18,587	204,551	6.7%
3	その他の心疾患	↑	584,474	2,585	226,102	6.2%	1,335,010	9,306	143,457	3.4%
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	↑	498,615	1,392	358,200	3.3%	3,141,083	8,458	371,374	3.1%
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	↓	492,065	3,901	126,138	9.3%	860,232	13,638	63,076	4.9%
6	脂質異常症	↓	488,984	2,681	182,389	6.4%	2,029,605	22,244	91,243	8.1%
7	喘息	↓	458,318	2,896	158,259	6.9%	1,143,989	16,893	67,720	6.1%
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	↑	349,862	594	588,993	1.4%	1,242,696	2,624	473,588	1.0%
9	脳梗塞	↑	336,089	1,820	184,664	4.3%	487,585	5,396	90,360	2.0%
10	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	↑	329,937	4,520	72,995	10.8%	1,106,806	30,911	35,806	11.2%
11	屈折及び調節の障害	↓	327,813	5,975	54,864	14.3%	1,508,118	41,752	36,121	15.1%
12	関節症	↓	323,960	2,823	114,757	6.7%	935,738	15,425	60,664	5.6%
13	胃炎及び十二指腸炎	↓	311,123	2,434	127,824	5.8%	912,972	15,390	59,322	5.6%
14	炎症性多発性関節障害	↑	299,114	1,040	287,610	2.5%	965,908	6,567	147,085	2.4%
15	その他の消化器系の疾患	↓	293,304	2,893	101,384	6.9%	1,851,391	18,933	97,786	6.9%
16	虚血性心疾患	↓	292,978	1,495	195,972	3.6%	736,822	5,880	125,310	2.1%
17	その他の神経系の疾患	↓	291,471	2,188	133,214	5.2%	1,683,570	11,328	148,620	4.1%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	↑	286,442	3,987	71,844	9.5%	1,043,764	22,564	46,258	8.2%
19	その他の眼及び付属器の疾患	↓	281,005	4,038	69,590	9.6%	1,313,236	29,162	45,032	10.6%
20	ウイルス性肝炎	↓	278,356	866	321,427	2.1%	562,271	3,041	184,897	1.1%

（令和元年度）

順位	中分類名	【生保】 R1 : 45,240人				【国保】 R1 : 319,029人			
		医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	1人あたり医療費(円)	有病率
1	高血圧性疾患	2,066,506	8,292	249,217	18.3%	6,546,727	50,487	129,672	15.8%
2	糖尿病	1,486,824	4,745	313,345	10.5%	4,562,929	20,785	219,530	6.5%
3	脊椎障害（脊椎症を含む）	593,102	4,153	142,813	9.2%	1,066,101	16,139	66,057	5.1%
4	脂質異常症	515,685	2,319	222,374	5.1%	2,541,845	23,334	108,933	7.3%
5	喘息	481,799	2,918	165,113	6.5%	1,120,678	16,309	68,715	5.1%
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	473,712	1,392	340,310	3.1%	2,961,768	9,860	300,382	3.1%
7	その他の心疾患	415,309	2,041	203,483	4.5%	1,122,408	8,758	128,158	2.7%
8	ウイルス性肝炎	394,714	1,022	386,218	2.3%	905,903	3,958	228,879	1.2%
9	屈折及び調節の障害	369,214	6,759	54,625	14.9%	1,636,085	47,838	34,201	15.0%
10	関節症	360,909	2,859	126,236	6.3%	1,101,867	16,998	64,823	5.3%
11	その他の消化器系の疾患	335,784	3,078	109,092	6.8%	1,711,268	21,271	80,451	6.7%
12	胃炎及び十二指腸炎	330,050	2,413	136,780	5.3%	990,516	16,555	59,832	5.2%
13	その他の神経系の疾患	326,034	2,295	142,063	5.1%	1,355,707	12,019	112,797	3.8%
14	その他の眼及び付属器の疾患	303,089	4,192	72,302	9.3%	1,450,170	30,521	47,514	9.6%
15	虚血性心疾患	302,546	1,481	204,285	3.3%	787,989	6,024	130,808	1.9%
16	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	300,788	598	502,990	1.3%	1,743,176	3,091	563,952	1.0%
17	脳梗塞	300,139	1,826	164,370	4.0%	526,611	6,436	81,823	2.0%
18	炎症性多発性関節障害	299,952	1,031	290,933	2.3%	1,232,315	7,407	166,372	2.3%
19	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	286,398	4,732	60,524	10.5%	1,041,573	32,736	31,817	10.3%
20	慢性閉塞性肺疾患	240,877	735	327,724	1.6%	223,405	1,834	121,813	0.6%

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

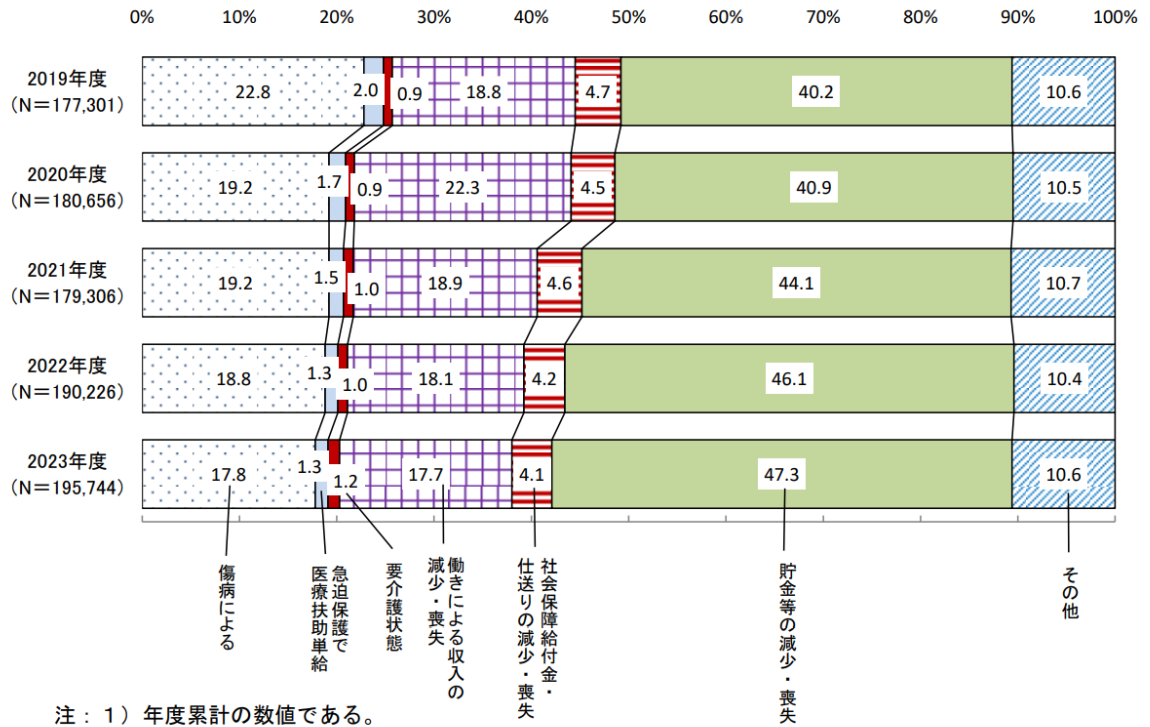
- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載のある主たる疾病名をすべて集計対象としている。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 4 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。
- ※ 5 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

【参考】

・・・生活保護の医療費が高額となる背景・・・

日本における保護開始理由では「傷病による」が2番目に多い。これは何らかの病気に罹患していることが原因で生活保護を受けている世帯が一定数あることを示し、医療費に影響している可能性がある。

保護開始の主な理由別の保護開始世帯数の構成割合（年次推移）



出典：厚生労働省 令和5年度 被保護者調査 月次調査（確定値）結果の概要

P4 保護開始・保護停止の主な理由

図4 保護開始の主な理由別の保護開始世帯数の構成割合（年次推移）

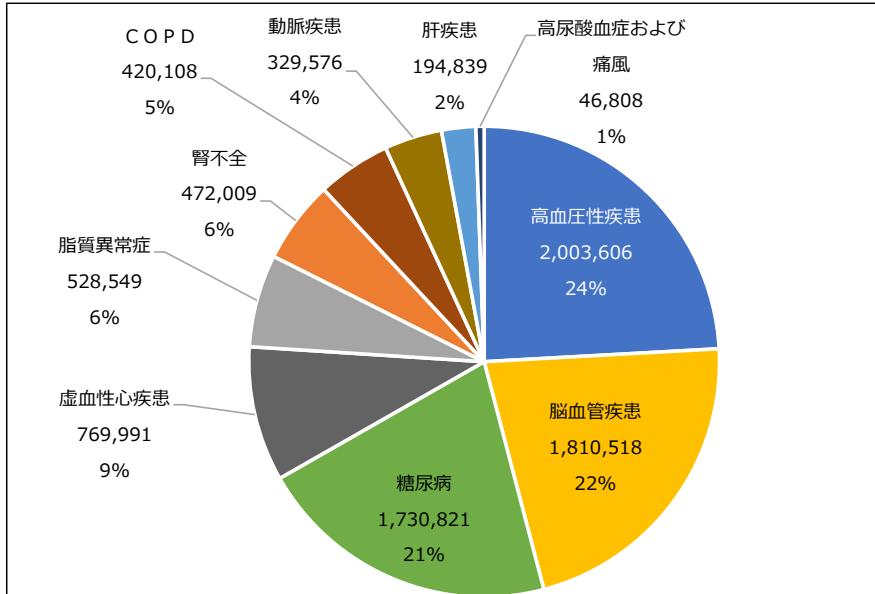
(7) 生活習慣病の医療費

令和6年度の生活習慣病の疾病別医療費は「高血圧性疾患」「脳血管疾患」「糖尿病」「虚血性心疾患」の順に高額であり、全体の約75%を占める。

また、令和元年度からの推移みると、「高血圧性疾患」にかかる医療費が減少する一方、「動脈疾患」は増加している。

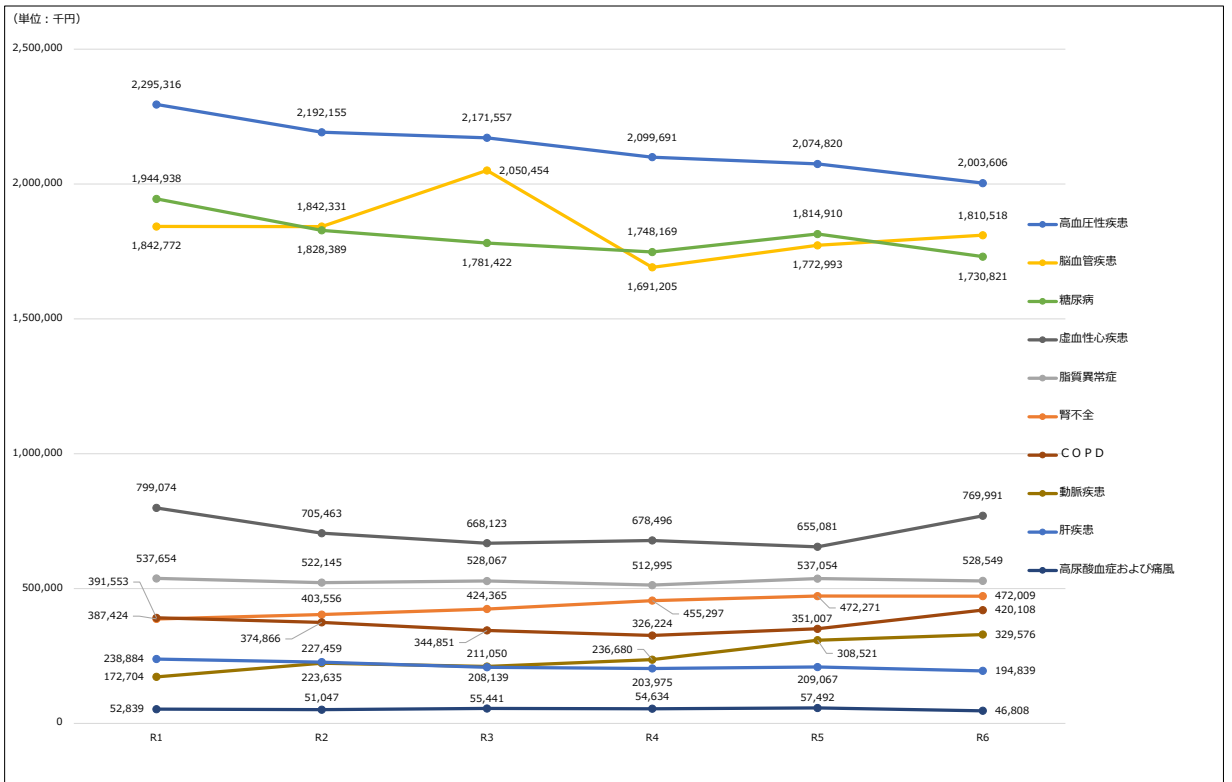
図表 18 生活習慣病の医療費内訳（令和6年度）

(単位：千円)



集計対象：レセプトデータ
(生活保護)

図表 19 生活習慣病の医療費推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(8) 年代別にみた生活習慣病等の医療費

令和6年度の年代別疾病別1人あたり医療費を国保と比較すると、腎不全以外の全ての疾病で生活保護の方が高い傾向にあった。腎不全が国保と比較して低い要因としては、自立支援医療単独のレセプトを集計対象に含んでいないことが一因である。

令和6年度と年代別疾病別1人あたり医療費を令和元年度と比較すると、75歳未満では、「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「動脈疾患」「腎不全」で増加した。特に「70歳～」の「動脈疾患」の1人あたり医療費は100万円を超えており、1.5倍以上増加している。また、75歳以上では、「動脈疾患」「腎不全」「COPD」が増加した。

図表 20 生活習慣病の1人あたり医療費

(生活保護 令和6年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	37,380	220,569	70,899	34,855	27,130	0	38,844	0	0
25歳～	86,240	335,109	49,115	22,345	11,837	0	60,017	40,210	0
30歳～	138,669	283,632	104,780	138,537	28,844	0	61,063	26,295	0
35歳～	99,333	259,754	103,893	90,822	68,787	18,750	177,533	1,013,379	15,525
40歳～	121,690	276,361	134,591	339,340	163,421	130,384	117,333	373,242	139,147
45歳～	167,280	288,193	137,996	337,477	183,319	48,216	171,135	365,111	80,866
50歳～	150,043	315,799	161,027	483,734	277,987	445,257	272,520	375,935	195,776
55歳～	190,097	314,251	177,222	741,317	472,947	324,062	239,542	819,583	175,311
60歳～	193,151	346,004	185,770	590,207	559,921	650,401	350,211	712,846	332,213
65歳～	221,140	344,700	187,900	483,860	646,535	876,064	369,171	770,629	503,828
70歳～	213,694	361,440	203,141	479,007	443,717	1,182,393	205,720	829,927	527,620
75歳未満	197,080	329,509	174,903	515,281	456,545	750,971	248,410	694,941	393,379
75歳～	268,844	376,936	225,689	624,374	465,645	961,795	277,072	777,360	761,358

(国保 令和6年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	27,505	65,061	82,670	68,124	20,777	615,353	21,517	1,459,291	0
25歳～	33,194	85,248	29,021	478,054	25,814	134,460	28,102	514,196	43,743
30歳～	57,960	111,998	41,564	345,942	27,698	111,690	39,774	1,916,720	31,910
35歳～	97,817	180,484	76,214	578,224	193,148	1,133,684	55,824	1,500,637	30,233
40歳～	84,144	170,946	63,035	332,556	335,621	59,640	79,113	2,402,335	52,696
45歳～	95,154	204,741	74,484	443,538	208,820	583,951	86,700	2,223,394	57,823
50歳～	99,104	224,291	84,794	508,753	242,645	353,634	134,445	2,640,789	83,862
55歳～	97,764	232,748	89,720	579,050	301,329	656,759	162,226	2,279,779	329,747
60歳～	103,552	253,938	85,616	450,257	299,052	580,794	137,022	2,824,048	136,960
65歳～	106,176	221,983	94,867	441,923	307,655	411,105	107,897	2,011,602	234,752
70歳～	121,238	245,628	104,661	387,772	335,920	663,911	114,856	2,061,923	222,941
75歳未満	111,868	231,405	96,105	427,018	309,474	569,038	111,154	2,196,756	206,690

集計対象：レセプトデータ（生活保護）、レセプトデータ（国保）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 3 生活保護の医療費は自立支援医療を含んでおらず、国保の医療費は自立支援医療を含んでいる。

(生活保護 令和元年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	108,487	33,896	13,256	137,973	31,883	0	57,835	0	0
25歳～	47,167	161,046	96,860	32,200	140,067	31,015	40,209	0	6,220
30歳～	127,513	229,945	192,059	51,056	61,645	37,950	23,214	312,087	24,275
35歳～	162,205	238,399	90,441	869,185	58,716	34,985	121,415	425,738	61,730
40歳～	161,995	269,036	157,673	440,815	368,799	40,581	281,962	164,730	90,337
45歳～	169,094	357,751	173,946	255,933	221,117	242,431	378,508	288,057	76,488
50歳～	195,776	370,698	181,415	399,934	336,651	111,405	276,501	436,224	150,654
55歳～	205,019	368,156	187,188	567,930	374,496	545,253	330,843	503,625	191,498
60歳～	208,126	389,766	252,418	464,143	513,934	201,837	306,395	477,522	304,783
65歳～	239,072	391,242	231,827	472,171	471,953	446,140	448,886	536,305	587,201
70歳～	264,627	411,525	221,416	565,232	532,327	751,953	283,496	572,453	787,584
75歳未満	230,617	374,059	205,963	489,738	443,670	439,934	301,077	496,223	524,470
75歳～	313,511	452,375	261,624	689,897	493,850	568,965	353,089	724,761	751,482

(国保 令和元年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	52,320	53,916	29,870	476,195	19,238	8,650	20,881	51,200	0
25歳～	33,014	70,426	49,510	47,995	26,664	177,165	34,647	1,664,977	13,585
30歳～	115,499	147,818	61,436	577,630	33,895	27,133	30,157	2,973,689	20,080
35歳～	81,751	125,596	51,361	236,043	45,608	57,415	39,238	2,874,545	33,780
40歳～	111,128	178,975	78,128	429,388	187,587	196,762	56,714	1,840,549	55,513
45歳～	112,737	194,222	81,772	415,394	246,923	486,425	168,059	3,120,862	103,954
50歳～	115,732	231,943	91,109	717,315	328,162	526,153	131,024	2,659,205	289,159
55歳～	119,728	259,526	94,861	555,412	432,714	476,146	134,725	3,263,255	146,552
60歳～	117,356	260,245	102,161	488,640	431,681	531,118	131,196	3,211,518	143,346
65歳～	132,627	250,971	107,024	382,706	387,326	457,324	134,964	2,598,527	178,197
70歳～	146,371	257,363	128,098	355,705	388,175	503,792	151,064	2,064,744	255,578
75歳未満	135,852	246,635	113,207	402,229	377,493	478,243	126,140	2,557,354	215,475

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

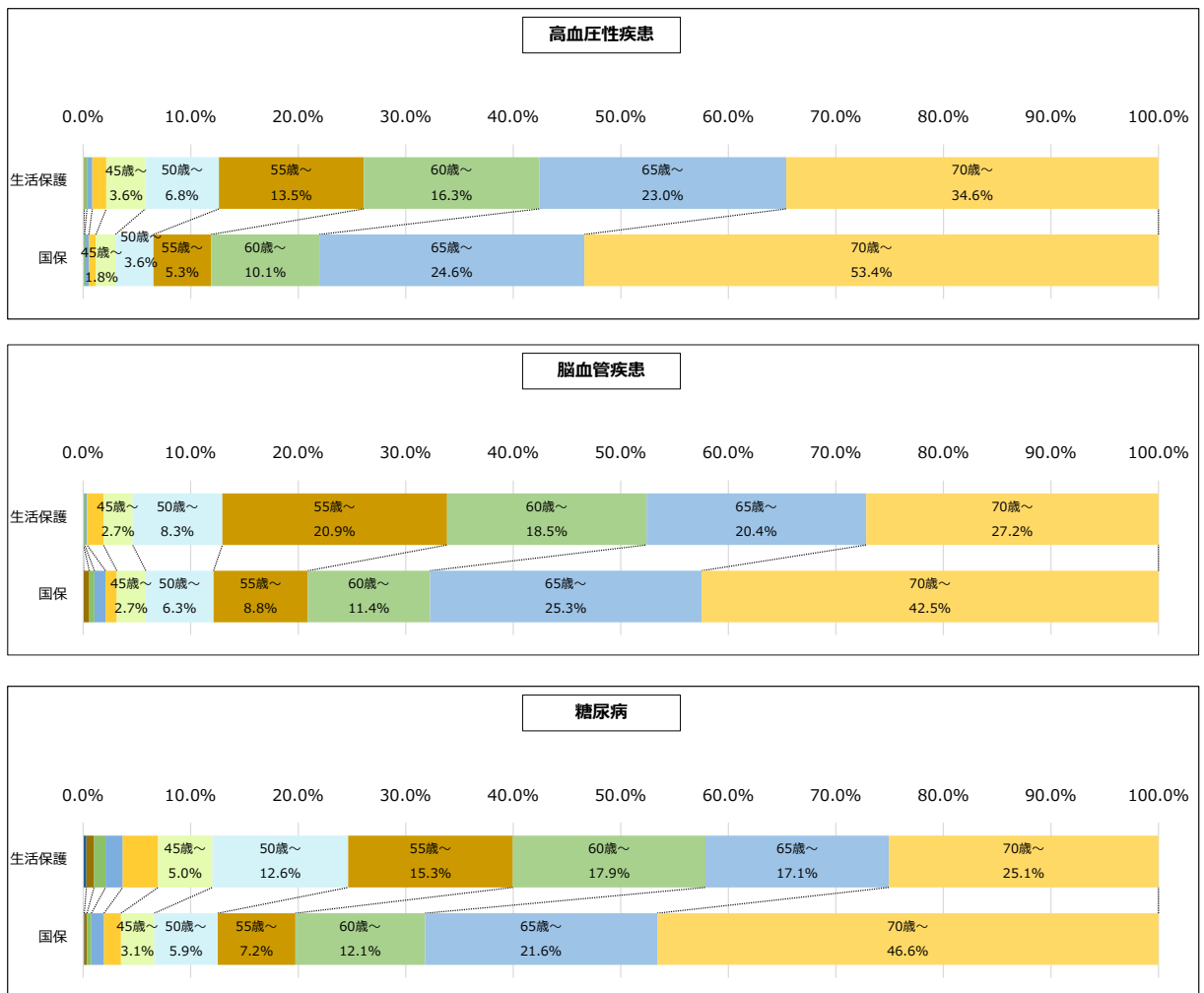
レセプトデータ（国保）

- ※ 1 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 3 生保の医療費は自立支援医療を含んでおらず、国保の医療費は自立支援医療を含んでいる。

20～74歳の当該疾病にかかる医療費総額を100%として、各年代の医療費割合をグラフ化した。令和6年度の「糖尿病」の医療費総額における20歳～60歳未満の割合は約40%を占めており、国保の約2倍となっている。他の疾患についても同様で、若年期の占める割合が国保よりも高い傾向である。

また、令和元年度と比較すると、3疾病とも、65歳以上の構成割合が減少し、壮年期の構成割合が増加した。

図表 21 生活習慣病（主要な疾病）の医療費年代別割合（令和6年度）

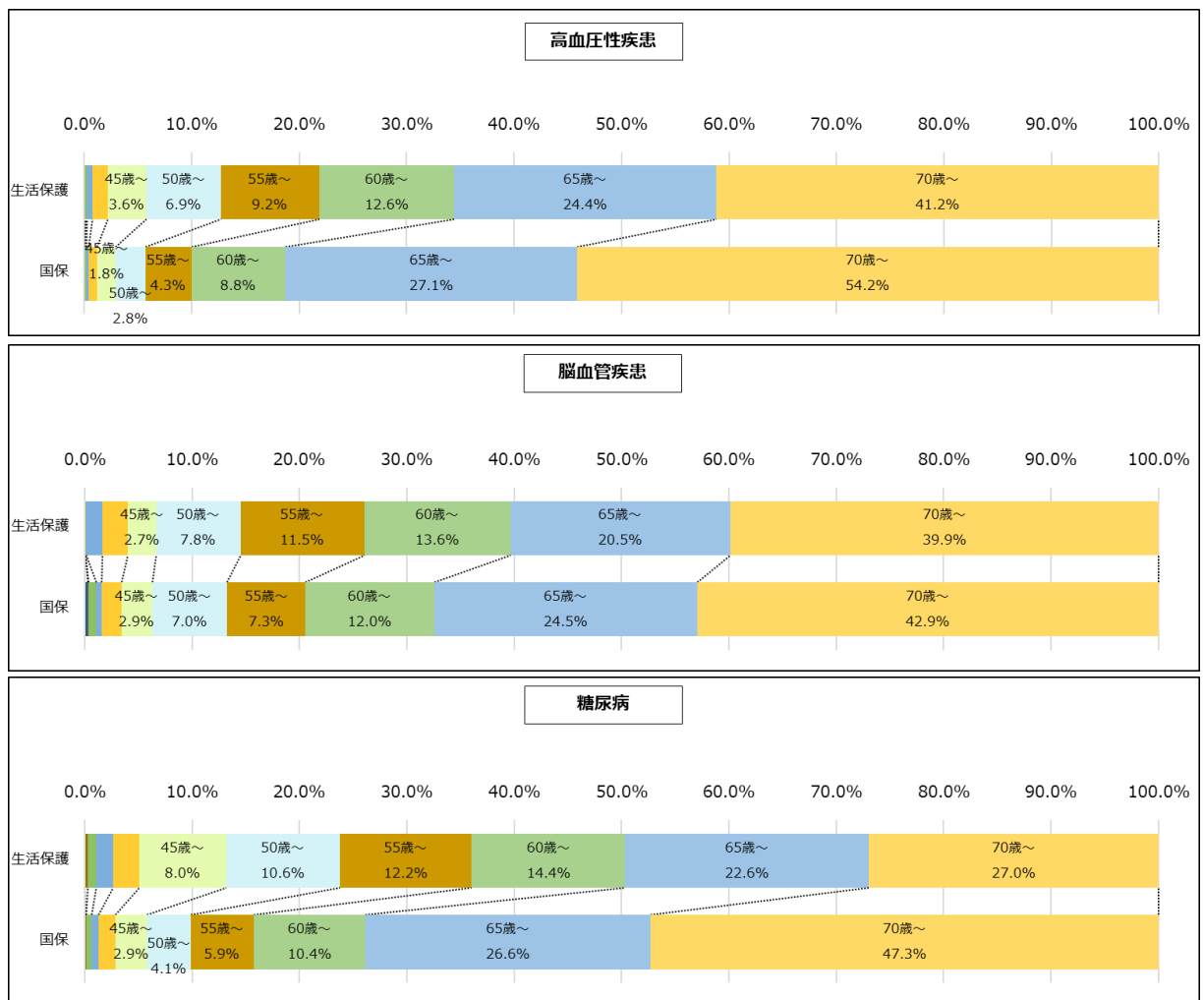


集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

※ 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

(令和元年度)



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

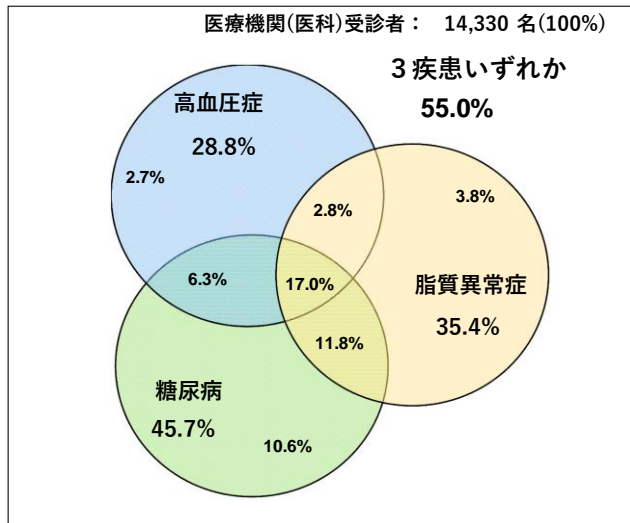
※ 医療費は各レセプトに主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

(9) 被保護者の医療機関受診状況

令和6年4月～令和7年3月の1年間において、生活習慣病の3疾病（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）のいずれかを受診した割合は55.0%であり、令和元年度の51.0%から増加している。疾病別では、いずれも令和元年度と比較して上昇している。また、3疾患すべてで受診した者の割合が増加した。

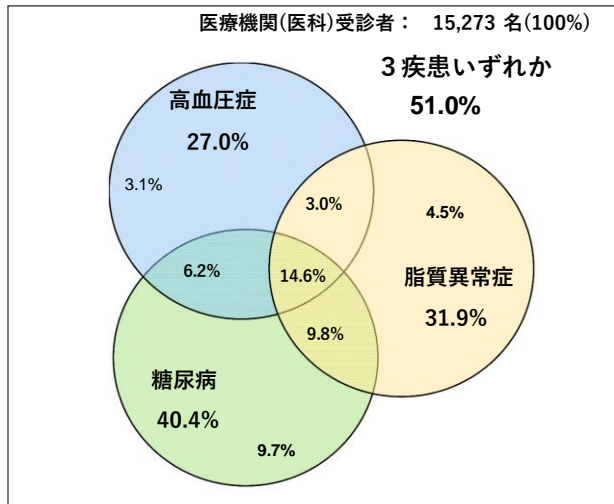
**図表 22 被保護者の医療機関受診状況
(令和6年度)**

被保護者（30歳～64歳）： 15,730 名



(令和元年度)

被保護者（30歳～64歳）： 16,033 名



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※1 糖尿病にはI型糖尿病を含む。各疾病は同レセプトにて血液検査が行われている場合のみ集計対象にしている。
- ※2 令和6年度は令和6年4月～令和7年3月診療分を、令和元年度は令和元年4月～令和2年3月診療分を集計している。
- ※3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※4 医療機関（医科）受診者は、妊娠・産褥での受診者を除いて集計している。

(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況

令和6年度の糖尿病治療中の被保護者について、糖尿病合併症（糖尿病性腎症（人工透析含む）、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害）がある者とそれ以外の者とで1人あたり医療費（全体）を比較したところ、合併症がある者の医療費の方が高額であった。

令和6年度と令和元年度を比較すると、1人あたり医療費は合併症あり、それ以外ともに減少がみられた。

図表 23 糖尿病における医療費及び患者数
(医療費)

年代	糖尿病患者1人あたり医療費(円)※I型除く						糖尿病医療費(千円)※I型除く					
	R6			R1			R6			R1		
	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外
0歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10歳～	55,173	0	55,173	170,664	199,006	113,980	166	0	166	512	398	114
15歳～	178,205	440,940	151,931	91,305	246,017	33,288	1,960	441	1,519	1,004	738	266
20歳～	286,845	24,570	313,073	58,290	0	58,290	3,155	25	3,131	175	0	175
25歳～	367,474	917,446	210,339	205,200	410,083	102,759	6,615	3,670	2,945	3,078	2,050	1,028
30歳～	315,163	260,307	341,398	772,854	1,721,028	109,133	10,716	2,863	7,852	26,277	24,094	2,183
35歳～	283,742	431,443	166,600	560,698	1,088,408	116,311	14,755	9,923	4,831	39,249	34,829	4,420
40歳～	302,719	409,356	209,841	327,627	447,409	239,367	35,115	22,105	13,010	32,435	18,791	13,644
45歳～	288,026	365,030	235,419	416,888	519,170	312,246	48,964	25,187	23,777	109,642	69,050	40,592
50歳～	333,281	404,345	259,272	441,171	589,545	306,286	131,313	81,273	50,039	148,234	94,327	53,906
55歳～	338,178	404,420	276,369	426,060	549,966	274,698	156,238	90,186	66,052	166,590	118,243	48,347
60歳～	375,638	440,447	309,267	457,221	589,881	292,421	189,322	112,314	77,008	198,891	142,161	56,730
65歳～	356,210	430,609	287,043	489,707	650,783	297,439	175,968	102,485	73,483	338,388	244,694	93,693
70歳～	375,822	420,867	334,737	436,375	469,807	386,648	261,572	139,728	121,844	345,173	222,218	122,954
75歳～	389,189	443,238	342,298	489,817	553,491	425,553	707,934	374,536	333,398	744,032	422,314	321,718
全体	364,505	427,442	308,293	462,064	566,860	345,036	1,743,792	964,736	779,056	2,153,678	1,393,909	759,770

(患者数)

年代	糖尿病延べ患者数(人)※I型除く						(参考) I型糖尿病での延べ患者数(人)					
	R6			R1			R6			R1		
	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外
0歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳～	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
10歳～	3	0	3	12	2	10	1	0	1	1	0	1
15歳～	20	2	18	27	3	24	0	0	0	2	2	0
20歳～	30	2	28	24	3	21	2	2	0	1	0	1
25歳～	41	6	35	42	7	35	1	0	1	1	1	0
30歳～	75	12	63	89	16	73	2	1	1	2	1	1
35歳～	134	26	108	170	38	132	4	4	0	8	4	4
40歳～	270	69	201	265	59	206	8	0	8	9	4	5
45歳～	432	109	323	626	168	458	11	6	5	21	8	13
50歳～	900	263	637	827	231	596	23	13	10	24	12	12
55歳～	1,090	315	775	1,002	299	703	32	15	17	21	10	11
60歳～	1,254	371	883	1,127	350	777	23	14	9	19	9	10
65歳～	1,287	384	903	1,762	547	1,215	19	9	10	27	8	19
70歳～	1,902	516	1,386	2,373	740	1,633	27	7	20	17	6	11
75歳～	6,029	1,405	4,624	5,219	1,223	3,996	40	19	21	29	10	19
全体	13,468	3,480	9,988	13,565	3,686	9,879	193	90	103	183	76	107

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 医療費は各レセプトの主たる疾病名に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 糖尿病患者1人あたりの医療費は、主たる疾病が糖尿病であるレセプトの医療費の合計を、同主傷病の実患者数で除して算出している。
- ※ 3 糖尿病延べ患者数は、レセプトに記載されているすべての疾病うち、糖尿病に該当する実患者数を集計している。
- ※ 4 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況

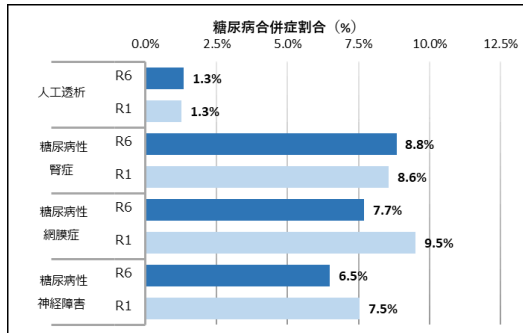
糖尿病のレセプトがある者のうち、人工透析及び糖尿病合併症のレセプトがある者の割合を国保と比較したところ、糖尿病合併症において生活保護の割合が高かった。人工透析は、生活保護では自立支援医療の単独レセプトを集計外としているため割合が低い。

令和6年度と令和元年度を比較すると糖尿病性腎症では増加し、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害では減少している。

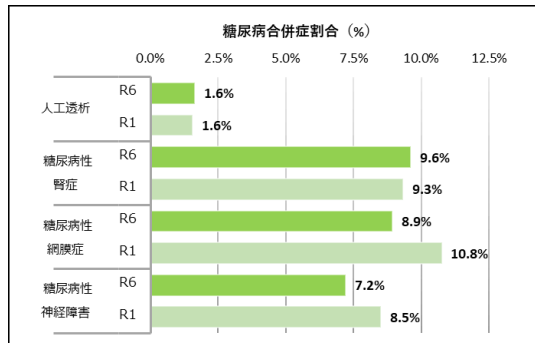
また、1か月の医科レセプト件数は、総じて減少している。

図表 24 人工透析・糖尿病合併症のレセプト割合

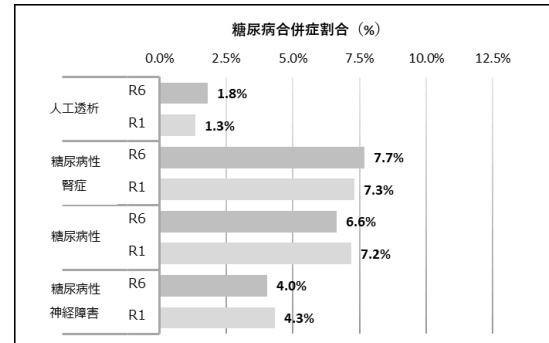
①生活保護(全年齢)



②生活保護(75歳未満)



③国保



①生活保護(全年齢)

	1か月の医科レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
							人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/A)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/C)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/C)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/C)	レセプト件数 (G)	割合 (%) (G/C)
令和6年度	47,467	224	0.5%	66.4%	11,105	23.4%	149	1.3%	981	8.8%	855	7.7%	721	6.5%
令和元年度	50,158	204	0.4%	69.6%	11,288	22.5%	142	1.3%	966	8.6%	1,073	9.5%	850	7.5%

②生活保護(75歳未満)

	1か月の医科レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
							人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/A)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/C)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/C)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/C)	レセプト件数 (G)	割合 (%) (G/C)
令和6年度	28,493	139	0.5%	71.3%	6,039	21.2%	99	1.6%	580	9.6%	540	8.9%	436	7.2%
令和元年度	32,582	148	0.5%	73.0%	6,900	21.2%	108	1.6%	643	9.3%	743	10.8%	588	8.5%

③国保

	1か月の医科レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
							人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/A)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/C)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/C)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/C)	レセプト件数 (G)	割合 (%) (G/C)
令和6年度	213,626	1,121	0.5%	46.5%	29,118	13.6%	522	1.8%	2,237	7.7%	1,934	6.6%	1,176	4.0%
令和元年度	242,739	1,027	0.4%	49.8%	38,352	15.8%	511	1.3%	2,800	7.3%	2,760	7.2%	1,663	4.3%

集計対象：レセプトデータ(生活保護)

レセプトデータ(国保)

(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況

歯科受診者に占める糖尿病患者の割合を年代別に確認すると、50歳代から増加し、65歳以降では40%以上を占める。

令和6年度と令和元年度を比較すると、50歳以上の年代で歯科受診者及びう蝕、歯周病における糖尿病患者の割合が増加した。

図表 25 歯科レセプトに占める糖尿病患者の割合

年代	歯科受診者(人)					
	R6			R1		
	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合
0歳～	131	4	3.1%	187	5	2.7%
5歳～	517	10	1.9%	837	10	1.2%
10歳～	576	12	2.1%	784	19	2.4%
15歳～	567	20	3.5%	650	18	2.8%
20歳～	216	25	11.6%	247	23	9.3%
25歳～	337	34	10.1%	346	27	7.8%
30歳～	467	50	10.7%	462	47	10.2%
35歳～	538	85	15.8%	664	94	14.2%
40歳～	729	139	19.1%	888	154	17.3%
45歳～	945	229	24.2%	1,277	325	25.5%
50歳～	1,533	481	31.4%	1,414	399	28.2%
55歳～	1,552	542	34.9%	1,433	479	33.4%
60歳～	1,653	645	39.0%	1,413	498	35.2%
65歳～	1,496	625	41.8%	1,858	742	39.9%
70歳～	1,884	849	45.1%	2,486	1,046	42.1%
75歳～	6,534	2,844	43.5%	5,508	2,360	42.8%
全体	19,675	6,594	33.5%	20,454	6,246	30.5%

年代	う蝕						歯周病					
	R6			R1			R6			R1		
	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合
0歳～	97	2	2.1%	143	3	2.1%	101	4	4.0%	105	4	3.8%
5歳～	437	9	2.1%	724	10	1.4%	421	8	1.9%	592	9	1.5%
10歳～	449	11	2.4%	620	17	2.7%	508	11	2.2%	635	16	2.5%
15歳～	391	16	4.1%	457	16	3.5%	534	19	3.6%	597	18	3.0%
20歳～	126	16	12.7%	168	16	9.5%	209	25	12.0%	237	22	9.3%
25歳～	225	25	11.1%	217	20	9.2%	321	32	10.0%	332	26	7.8%
30歳～	306	35	11.4%	297	35	11.8%	456	49	10.7%	439	45	10.3%
35歳～	361	64	17.7%	449	65	14.5%	512	80	15.6%	630	89	14.1%
40歳～	483	91	18.8%	589	102	17.3%	698	130	18.6%	856	152	17.8%
45歳～	643	160	24.9%	835	220	26.3%	909	215	23.7%	1,213	309	25.5%
50歳～	1,047	339	32.4%	880	263	29.9%	1,464	459	31.4%	1,339	378	28.2%
55歳～	987	366	37.1%	864	286	33.1%	1,462	511	35.0%	1,339	447	33.4%
60歳～	1,000	403	40.3%	780	275	35.3%	1,536	597	38.9%	1,289	455	35.3%
65歳～	881	366	41.5%	1,008	409	40.6%	1,384	570	41.2%	1,662	669	40.3%
70歳～	1,077	487	45.2%	1,295	532	41.1%	1,685	767	45.5%	2,176	908	41.7%
75歳～	3,221	1,458	45.3%	2,492	1,093	43.9%	5,499	2,385	43.4%	4,507	1,905	42.3%
全体	11,731	3,848	32.8%	11,818	3,362	28.4%	17,699	5,862	33.1%	17,948	5,452	30.4%

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

※ 1 患者数はレセプトに記載の疾病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

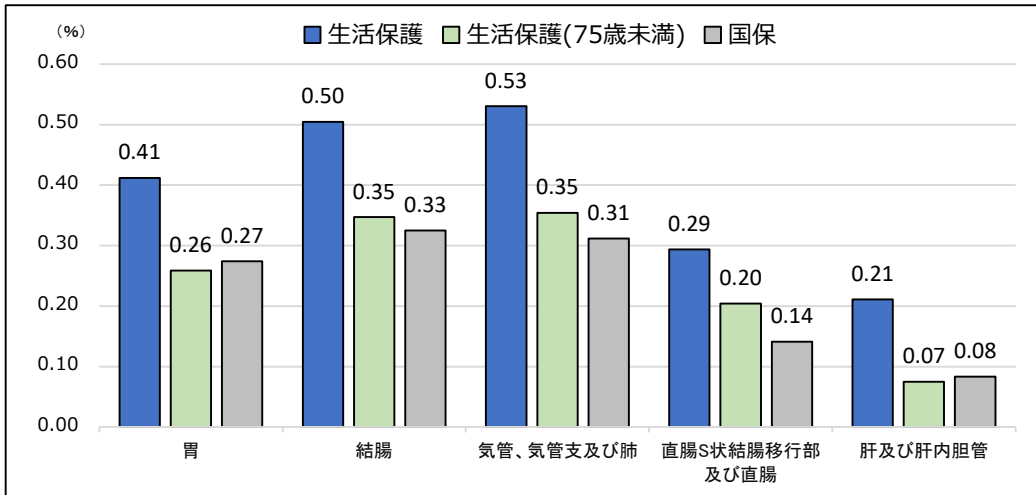
※ 2 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

(13) 悪性新生物による医療機関受診率

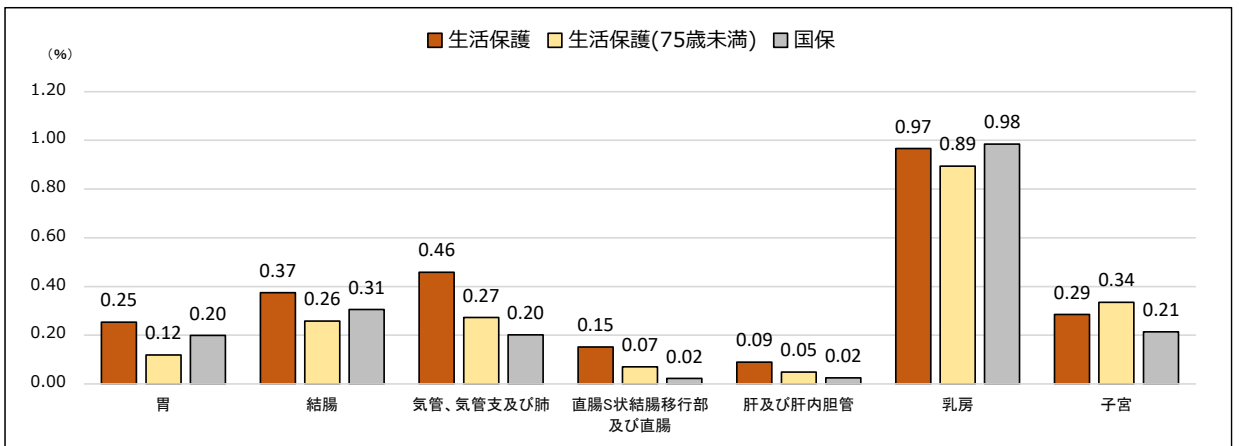
令和6年を令和元年と比較すると、男性・女性ともに「気管、気管支及び肺」での受診率が増加し、特に男性では全年齢での「結腸」が、女性では「乳房」が増加した。

令和6年における生活保護（75歳未満）と国保と比較すると、男性では「結腸」「気管、気管支及び肺」「直腸S状結腸移行部及び直腸」、女性では「気管、気管支及び肺」「直腸S状結腸移行部及び直腸」「肝及び肝内胆管」「子宮」は、生活保護が高い。

図表 26 悪性新生物による医療機関受診率
(令和6年5月 男性)

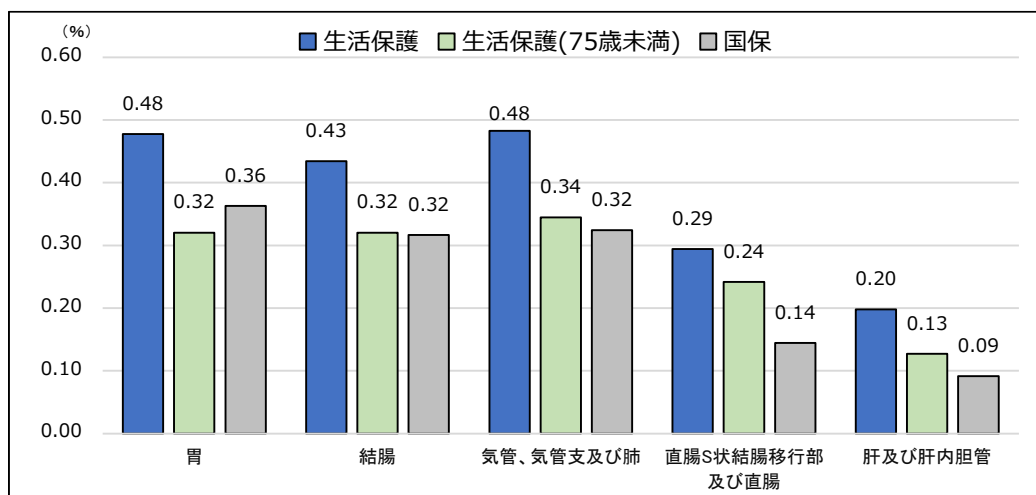


(令和6年5月 女性)

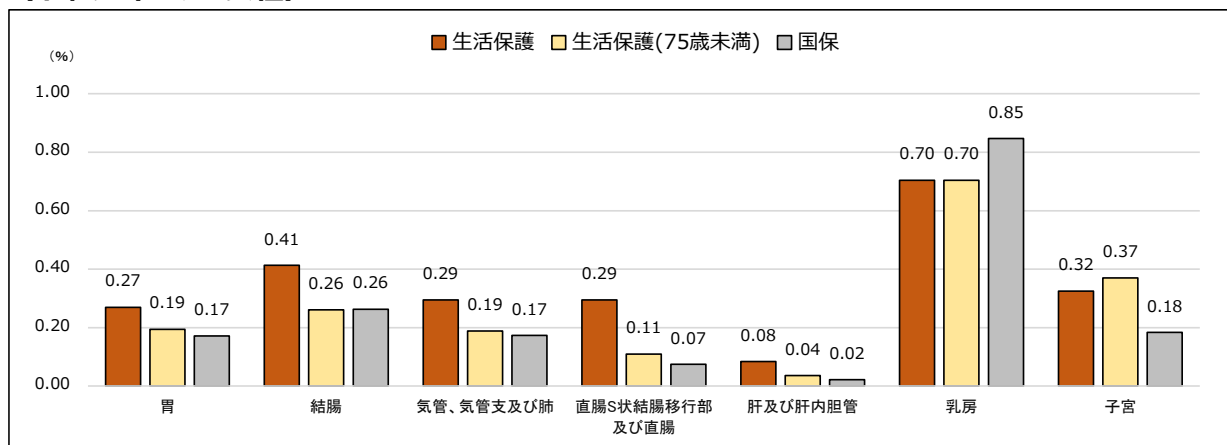


集計対象：レセプトデータ（生活保護）
レセプトデータ（国保）

(令和元年5月 男性)



(令和元年5月 女性)



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

(14) 糖尿病と悪性新生物の関係

令和6年度の糖尿病患者に占める悪性新生物患者の割合を糖尿病がない者と比較すると、40歳以上においてすべてのがん種（「結腸」「胃」「肝および肝内胆管」「膵」）で糖尿病ありの割合が高かった。また、令和6年度を令和元年度と比較すると、40～59歳の「膵」、75歳以上の「結腸」を除き、糖尿病患者に占める悪性新生物患者の割合が減少した。

図表 27 糖尿病と悪性新生物の関係

40～59歳

	R6						R1					
	人数(人)			割合			人数(人)			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	17	36	53	0.63%	0.57%	0.59%	19	33	52	0.70%	0.46%	0.53%
胃	10	11	21	0.37%	0.17%	0.23%	21	24	45	0.77%	0.33%	0.46%
肝および肝内胆管	6	10	16	0.22%	0.16%	0.18%	20	12	32	0.74%	0.17%	0.32%
膵	10	9	19	0.37%	0.14%	0.21%	7	7	14	0.26%	0.10%	0.14%
実診療人数	2,702	6,312	9,014				2,718	7,167	9,885			

60～74歳

	R6						R1					
	人数(人)			割合			人数(人)			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	126	129	255	2.83%	2.18%	2.46%	163	171	334	3.09%	2.35%	2.66%
胃	97	93	190	2.18%	1.57%	1.83%	156	151	307	2.96%	2.08%	2.45%
肝および肝内胆管	46	49	95	1.03%	0.83%	0.92%	73	64	137	1.39%	0.88%	1.09%
膵	33	22	55	0.74%	0.37%	0.53%	40	13	53	0.76%	0.18%	0.42%
実診療人数	4,454	5,912	10,366				5,267	7,275	12,542			

75歳以上

	R6						R1					
	人数(人)			割合			人数(人)			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	295	278	573	4.91%	3.61%	4.18%	249	253	502	4.79%	3.47%	4.02%
胃	241	216	457	4.01%	2.80%	3.33%	229	207	436	4.40%	2.84%	3.49%
肝および肝内胆管	124	76	200	2.06%	0.99%	1.46%	112	98	210	2.15%	1.35%	1.68%
膵	53	27	80	0.88%	0.35%	0.58%	48	31	79	0.92%	0.43%	0.63%
実診療人数	6,014	7,710	13,724				5,202	7,286	12,488			

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

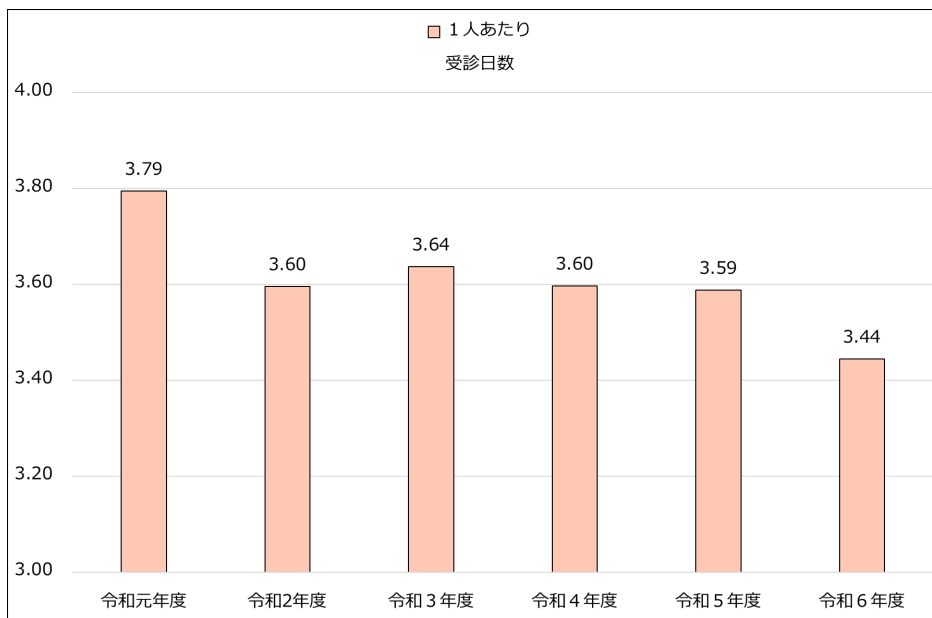
※ 患者数は、集計の都合上実際の数値から若干の誤差(増幅)が生じている場合がある。

(15) 入院外の1か月間における受診日数

令和元年度から令和6年度までの各年6月における入院外受診状況を確認したところ、受診合計日数は113,682日から98,973日へ減少した。また、1人あたりの受診日数(受診頻度)は、令和元年度の3.79回から令和6年度の3.44回へと減少しており、全体として減少傾向が見られる。

図表 28 1か月あたりの入院外受診合計日数と1人あたり受診日数(6月)

	受診 合計日数	受診人数	1人あたり 受診日数
令和元年度	113,682	29,961	3.79
令和2年度	104,445	29,049	3.60
令和3年度	105,934	29,130	3.64
令和4年度	105,047	29,206	3.60
令和5年度	104,298	29,070	3.59
令和6年度	98,973	28,735	3.44



集計対象：レセプトデータ(生活保護)

※ 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

(16) 疾病別受診日数の状況

令和6年度の受診日数が多い20疾病において、令和6年度を令和元年度と比較した。入院では、半数以上の疾病で受診日数が減少した一方、レセプト1件あたり金額はすべての疾病で増加した。

入院外では、「その他の心疾患」「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」を除き受診日数が減少した。レセプト1件あたり金額は半数以上の疾患で減少した。

図表 29 疾病別受診日数
(入院)

順位	R6						R1				
	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)	推移	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	109,090	3,974	1,737,896	437,317	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	125,713	4,573	1,797,874	393,150
2	骨折	36,596	2,199	1,539,424	700,056	→	骨折	38,126	2,115	1,336,394	631,865
3	その他の心疾患	22,790	1,457	1,052,556	722,413	↑	脳梗塞	24,215	1,173	804,867	686,161
4	脳梗塞	20,279	1,008	779,407	773,221	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	22,839	926	350,929	378,973
5	その他の呼吸器系の疾患	16,875	1,081	656,000	606,846	↑	アルツハイマー病	22,516	822	339,795	413,376
6	アルツハイマー病	15,897	592	252,026	425,720	↓	その他の心疾患	20,108	1,290	922,363	715,010
7	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15,889	671	261,019	389,000	↓	血管性及び詳細不明の認知症	19,324	713	298,539	418,708
8	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	14,065	610	282,583	463,251	↑	糖尿病	17,039	1,044	488,454	467,868
9	血管性及び詳細不明の認知症	13,101	492	208,838	424,467	↓	その他の呼吸器系の疾患	14,740	882	480,055	544,280
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	13,083	706	424,086	600,689	↑	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	13,973	628	263,882	420,195
11	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,340	950	681,895	717,784	→	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,295	1,017	656,360	645,388
12	肺炎	11,522	851	469,969	552,256	→	肺炎	12,653	882	422,317	478,817
13	その他の精神及び行動の障害	10,552	433	192,181	443,836	→	その他の精神及び行動の障害	11,555	443	190,720	430,518
14	糖尿病	9,932	660	342,220	518,515	↓	脳内出血	11,159	484	350,354	723,872
15	脳内出血	9,743	438	325,477	743,097	↓	その他の消化器系の疾患	10,449	1,070	435,318	406,840
16	その他の消化器系の疾患	9,429	1,051	520,596	495,334	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,917	575	319,592	555,812
17	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,996	691	319,893	462,943	→	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,548	725	303,847	419,100
18	腎不全	8,872	578	308,129	533,095	↑	脊椎障害(脊椎症を含む)	8,816	585	401,795	686,829
19	その他の神経系の疾患	8,768	499	296,060	593,307	→	その他の神経系の疾患	8,393	532	267,735	503,261
20	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,182	571	410,431	718,793	↑	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,376	445	199,744	448,862

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

※推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

(入院外)

順位	R6						R1				
	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)	推移	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)
1	高血圧性疾患	108,148	63,442	1,021,280	16,098	→	高血圧性疾患	140,446	71,426	1,168,585	16,361
2	脊椎障害（脊椎症を含む）	79,826	22,427	318,835	14,217	→	脊椎障害（脊椎症を含む）	99,226	24,340	378,742	15,560
3	糖尿病	55,519	34,593	765,030	22,115	→	糖尿病	67,495	36,684	810,810	22,103
4	関節症	48,905	16,417	220,382	13,424	→	関節症	60,751	17,030	232,734	13,666
5	脂質異常症	31,568	17,838	268,755	15,066	→	脂質異常症	36,933	17,853	282,777	15,839
6	胃炎及び十二指腸炎	27,090	13,066	177,044	13,550	→	胃炎及び十二指腸炎	32,922	12,865	197,661	15,364
7	屈折及び調節の障害	26,109	20,581	256,824	12,479	→	屈折及び調節の障害	31,995	24,409	278,263	11,400
8	その他の心疾患	25,095	13,931	324,538	23,296	↑	喘息	26,167	14,824	263,940	17,805
9	喘息	23,198	14,311	234,702	16,400	↓	その他の眼及び付属器の疾患	23,465	17,486	213,458	12,207
10	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	21,234	14,868	174,199	11,716	↑	その他の神経系の疾患	23,141	11,611	183,354	15,791
11	その他の眼及び付属器の疾患	20,159	15,777	217,427	13,781	↓	骨の密度及び構造の障害	23,042	6,760	110,080	16,284
12	その他の神経系の疾患	19,720	11,307	180,510	15,964	↓	その他の消化器系の疾患	23,023	12,174	189,767	15,588
13	皮膚炎及び湿疹	19,314	14,246	108,118	7,589	→	皮膚炎及び湿疹	22,283	15,557	109,017	7,008
14	その他の消化器系の疾患	17,574	10,255	177,151	17,275	↓	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	22,183	14,800	160,684	10,857
15	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,131	10,637	196,801	18,502	↑	椎間板障害	19,779	4,966	72,636	14,627
16	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	16,590	7,222	121,596	16,837	↑	腰痛症及び坐骨神経痛	19,679	5,768	77,911	13,507
17	アレルギー性鼻炎	16,058	10,727	89,228	8,318	↑	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	18,291	7,426	117,829	15,867
18	脳梗塞	15,934	8,983	213,993	23,822	↑	アレルギー性鼻炎	18,159	11,279	90,000	7,979
19	椎間板障害	15,408	4,858	63,524	13,076	↓	その他の心疾患	17,438	9,762	225,880	23,139
20	骨折	15,316	6,789	132,729	19,551	↑	脳梗塞	17,012	8,592	185,602	21,602

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

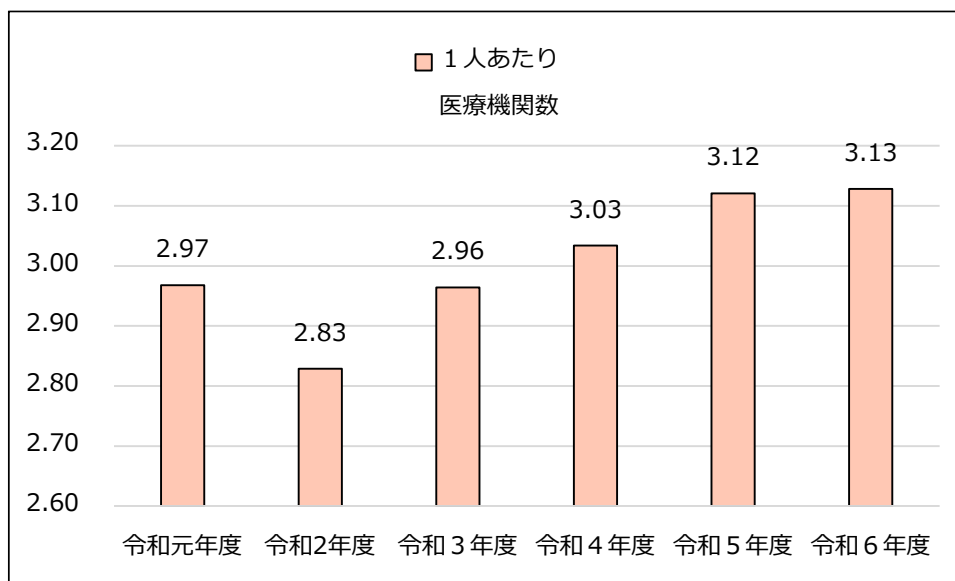
※推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

(17) 複数医療機関の受診状況

1年間に1人の患者が受診している医療機関数を集計した。令和2・3年の受診医療機関数や患者数の減少は、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えが影響している可能性がある。一人あたり医療機関数は令和6年度 3.13 と令和元年度の 2.97 を上回っている。

図表 30 受診医療機関数（医科）

	受診医療機関数	患者数	1人あたり医療機関数
令和元年度	129,204	43,538	2.97
令和2年度	118,190	41,778	2.83
令和3年度	119,255	40,231	2.96
令和4年度	124,137	40,920	3.03
令和5年度	125,663	40,268	3.12
令和6年度	124,397	39,769	3.13



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 2 受診医療機関数は、集計対象期間（1年間）に患者1人が受診した実医療機関数を合計している。
患者数は、集計対象期間に医療機関を受診した実患者数を集計している。

重複受診の状況を令和6年度と令和元年度で比較すると、上位2疾病「詳細不明の糖尿病」「睡眠障害」の順位に変化はなかったが、重複受診者数には減少がみられた。一方で、全年代では「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>」「その他腸の機能障害」「胃食道逆流症」「膝関節症〔膝の関節症〕」、75歳未満では「睡眠障害」「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>」「胃食道逆流症」の順位が上昇した。

**図表 31 重複受診の状況
(全年代)**

順位	R6					R1			
	疾病	重複受診者数	延べ患者数	重複割合	推移	疾病	重複受診者数	延べ患者数	重複割合
1	詳細不明の糖尿病	95	16,961	0.56%	→	詳細不明の糖尿病	126	16,803	0.75%
2	睡眠障害	89	13,913	0.64%	→	睡眠障害	105	14,149	0.74%
3	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	75	14,976	0.50%	↑	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	83	20,085	0.41%
4	胃炎及び十二指腸炎	72	14,836	0.49%	→	胃炎及び十二指腸炎	77	16,269	0.47%
5	その他の腸の機能障害	63	15,897	0.40%	↑	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	60	17,824	0.34%
6	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	62	18,162	0.34%	↓	その他の腸の機能障害	58	15,714	0.37%
7	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	60	19,952	0.30%	↓	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	45	15,549	0.29%
8	胃食道逆流症	50	16,408	0.30%	↑	背部痛	44	12,928	0.34%
9	背部痛	40	12,443	0.32%	↓	胃食道逆流症	38	16,150	0.24%
10	膝関節症〔膝の関節症〕	35	7,912	0.44%	↑	喘息	35	9,507	0.37%

(75歳未満)

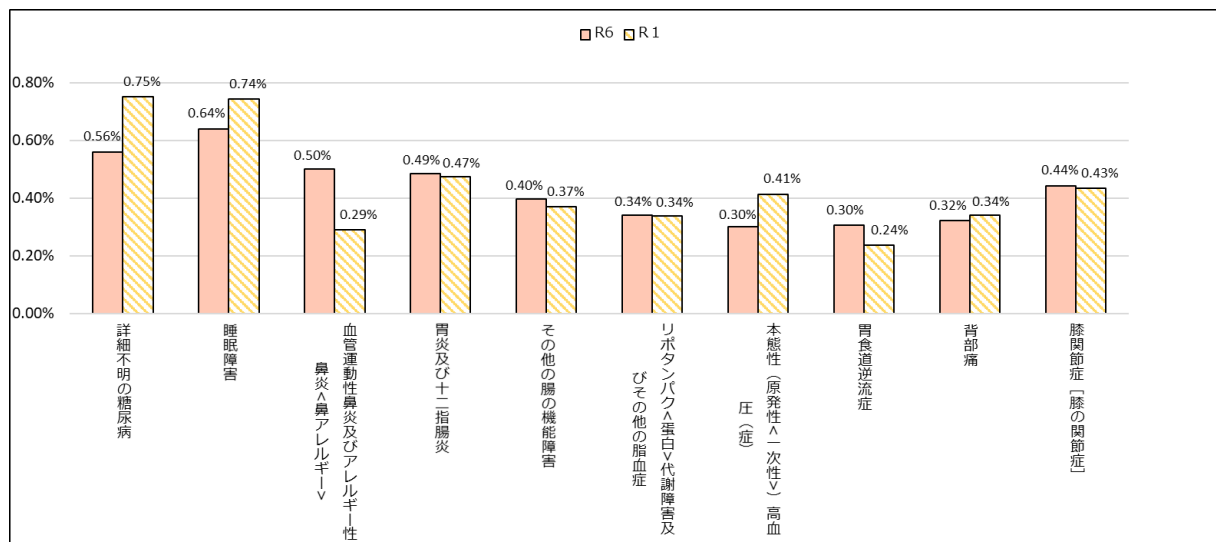
順位	R6					R1			
	疾病	重複受診者数	延べ患者数	重複割合	推移	疾病	重複受診者数	延べ患者数	重複割合
1	睡眠障害	68	8,037	0.85%	↑	詳細不明の糖尿病	78	10,489	0.74%
2	詳細不明の糖尿病	61	9,640	0.63%	↓	睡眠障害	74	8,882	0.83%
3	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	56	10,782	0.52%	↑	胃炎及び十二指腸炎	51	10,590	0.48%
4	胃炎及び十二指腸炎	50	8,902	0.56%	↓	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	43	10,896	0.39%
5	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	40	10,046	0.40%	↓	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	42	10,984	0.38%
6	その他の腸の機能障害	40	7,815	0.51%	→	その他の腸の機能障害	41	8,639	0.47%
7	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	34	9,522	0.36%	↓	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	35	11,678	0.30%
8	胃食道逆流症	31	8,935	0.35%	↑	背部痛	34	8,118	0.42%
9	背部痛	27	7,038	0.38%	↓	喘息	30	6,980	0.43%
10	喘息	24	6,555	0.37%	↓	胃食道逆流症	28	9,833	0.28%

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

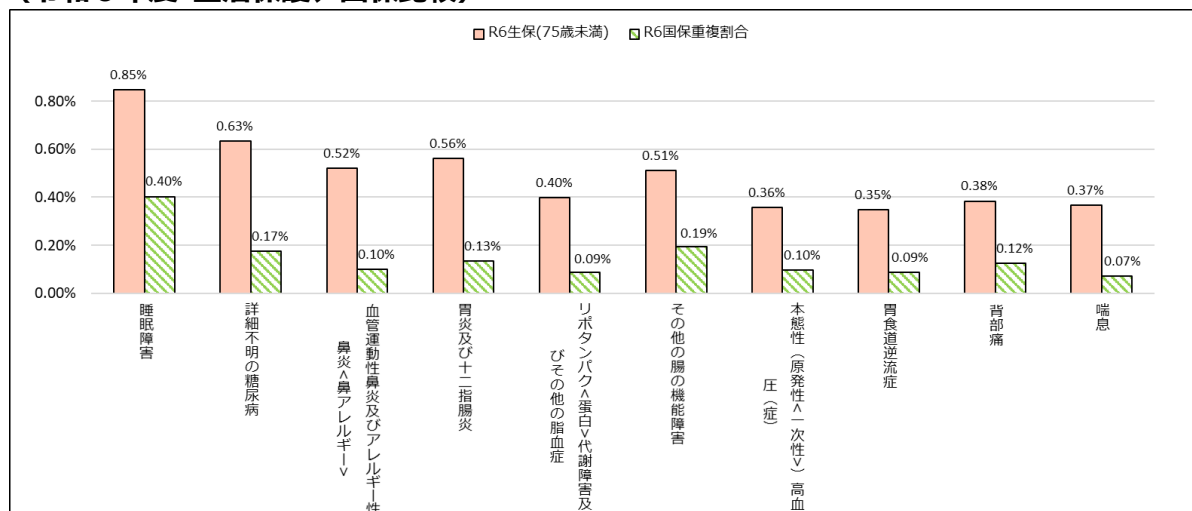
- ※1 重複受診者数はレセプトに記載のある疾病を全て集計対象とし、ICD10上3桁（中分類）を同一疾病とみなし、同一疾病での受診が2か月連続3医療機関以上に該当する者を集計している。
- ※2 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

重複受診割合が高い上位 10 疾病において、令和 6 年度を令和元年度と比較すると、「詳細不明の糖尿病」「睡眠障害」「本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）」「背部痛」が減少した一方、「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎」「胃食道逆流症」などが増加した。また、令和 6 年度の国保と比較すると、すべての疾病の重複割合が高く、特に「血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎（鼻アレルギー）」は 5.2 倍、「喘息」は 5.3 倍となっている。

（令和 6 年度、令和元年度生活保護比較）



（令和 6 年度 生活保護、国保比較）



集計対象：レセプトデータ（生活保護）
レセプトデータ（国保）

※ 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

(18) 重複処方状況

令和6年度の全年代において、「レバミピド（胃炎・胃腸粘膜保護剤）」「ロキソプロフェン（解熱鎮痛薬）」の重複処方者数が多かった。令和6年度を令和元年度と比較すると、特に「ゾルピデム（睡眠薬）」「酸化マグネシウム（制酸剤・緩下剤）」の重複割合が減少した一方、「モンテルカスト（アレルギー用薬）」「ボノブラザン（胃炎・胃腸粘膜保護剤）」の重複割合が増加した。

図表 32 重複処方の状況
(全年代)

順位	R6					R1			
	成分名(薬効)	重複処方者数	総処方者数	重複割合	推移	成分名(薬効)	重複処方者数	総処方者数	重複割合
1	レバミピド(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	329	12,399	2.65%	→	レバミピド(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	330	13,299	2.48%
2	ロキソプロフェン(解熱鎮痛薬)	172	13,273	1.30%	↑	酸化マグネシウム(制酸剤・緩下剤)	174	7,474	2.33%
3	酸化マグネシウム(制酸剤・緩下剤)	156	7,878	1.98%	↓	ロキソプロフェン(解熱鎮痛薬)	171	14,364	1.19%
4	アムロジピン(血管拡張剤)	135	8,969	1.51%	↑	ゾルピデム(睡眠薬)	141	3,461	4.07%
5	ボノブラザン(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	125	4,839	2.58%	↑	アムロジピン(血管拡張剤)	137	8,534	1.61%
6	メコバラミン(ビタミン剤)	105	4,171	2.52%	↑	ブレガバリン(神経障害性疼痛治療剤)	108	3,146	3.43%
7	アセトアミノフェン(解熱鎮痛薬)	97	15,085	0.64%	↑	メコバラミン(末梢性神経障害治療剤)	105	4,228	2.48%
8	ゾルピデム(睡眠薬)	84	2,837	2.96%	↓	フルニトラゼパム(睡眠薬)	101	2,313	4.37%
9	モンテルカスト(アレルギー用薬)	73	4,204	1.74%	↑	エチゾラム(精神神経用剤)	97	2,797	3.47%
10	エチゾラム(精神神経用剤)	71	2,107	3.37%	↓	センソシド(緩下剤)	89	4,730	1.88%

(75歳未満)

順位	R6					R1			
	成分名(薬効)	重複処方者数	総処方者数	重複割合	推移	成分名(薬効)	重複処方者数	総処方者数	重複割合
1	レバミピド(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	242	8,458	2.86%	→	レバミピド(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	235	9,546	2.46%
2	ロキソプロフェン(解熱鎮痛薬)	138	9,770	1.41%	→	ロキソプロフェン(解熱鎮痛薬)	129	10,804	1.19%
3	ボノブラザン(胃炎・胃腸粘膜保護剤)	87	2,759	3.15%	↑	ゾルピデム(睡眠薬)	105	2,378	4.42%
4	酸化マグネシウム(制酸剤・緩下剤)	81	3,661	2.21%	→	酸化マグネシウム(制酸剤・緩下剤)	96	3,885	2.47%
5	アムロジピン(血管拡張剤)	69	4,011	1.72%	↑	フルニトラゼパム(睡眠薬)	92	2,011	4.57%
6	メコバラミン(ビタミン剤)	69	2,531	2.73%	↑	エチゾラム(精神神経用剤)	76	1,908	3.98%
7	ゾルピデム(睡眠薬)	64	1,853	3.45%	↓	アムロジピン(血管拡張剤)	74	4,420	1.67%
8	フルニトラゼパム(睡眠薬)	63	1,481	4.25%	↓	ブレガバリン(神経障害性疼痛治療剤)	65	2,090	3.11%
9	モンテルカスト(アレルギー用薬)	62	3,400	1.82%	↑	メコバラミン(末梢性神経障害治療剤)	65	2,788	2.33%
10	エチゾラム(精神神経用剤)	57	1,403	4.06%	↓	抗ヒスタミン剤(抗アレルギー治療薬)	58	3,462	1.68%

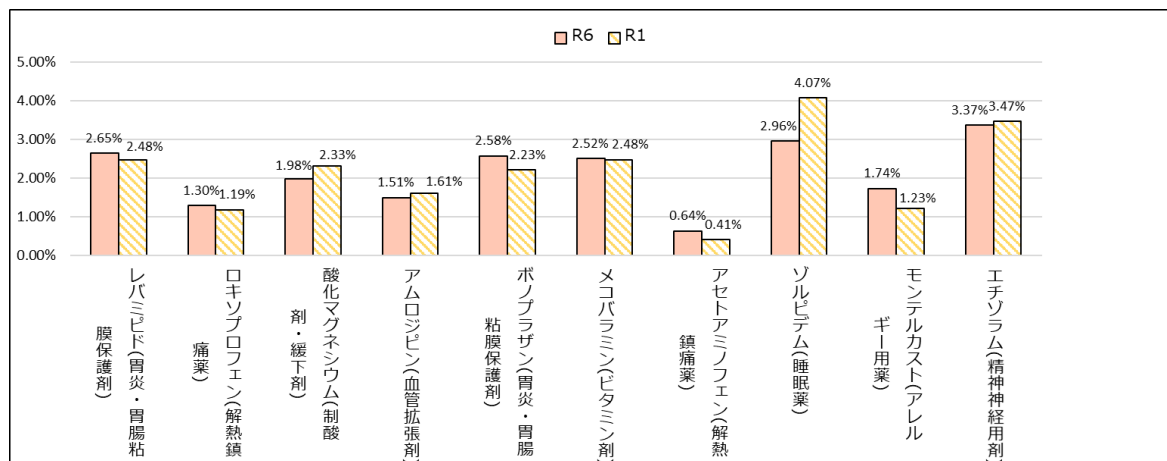
集計対象：レセプトデータ（生活保護）

※1 重複処方者数は、同一月に複数の医療機関から同一成分の医薬品をそれぞれ14日以上処方された者。

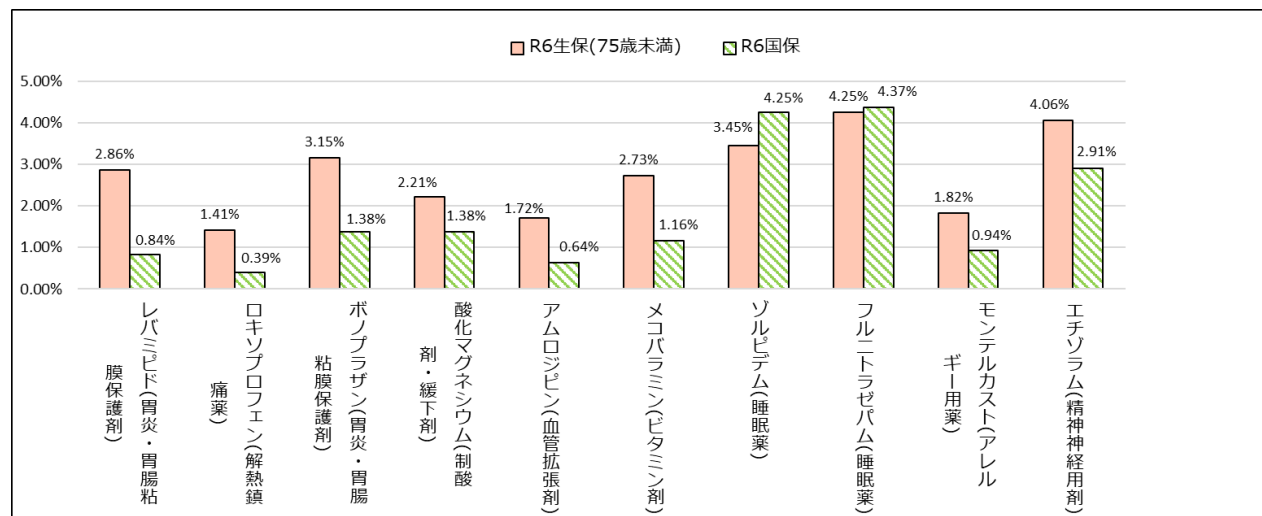
※2 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

75歳未満で、重複処方者数が上位10成分の医薬品における重複割合を国保と比較すると、特に「ロキソプロフェン(解熱鎮痛薬)」「レバミピド(胃炎・胃腸粘膜保護剤)」が高い。向精神薬が国保と比較して低い要因としては、自立支援医療単独のレセプトを集計対象に含んでいないことが一因である。

(令和6年度、令和元年度生活保護比較)



(令和6年度 生活保護、国保比較)



集計対象：レセプトデータ(生活保護)
レセプトデータ(国保)

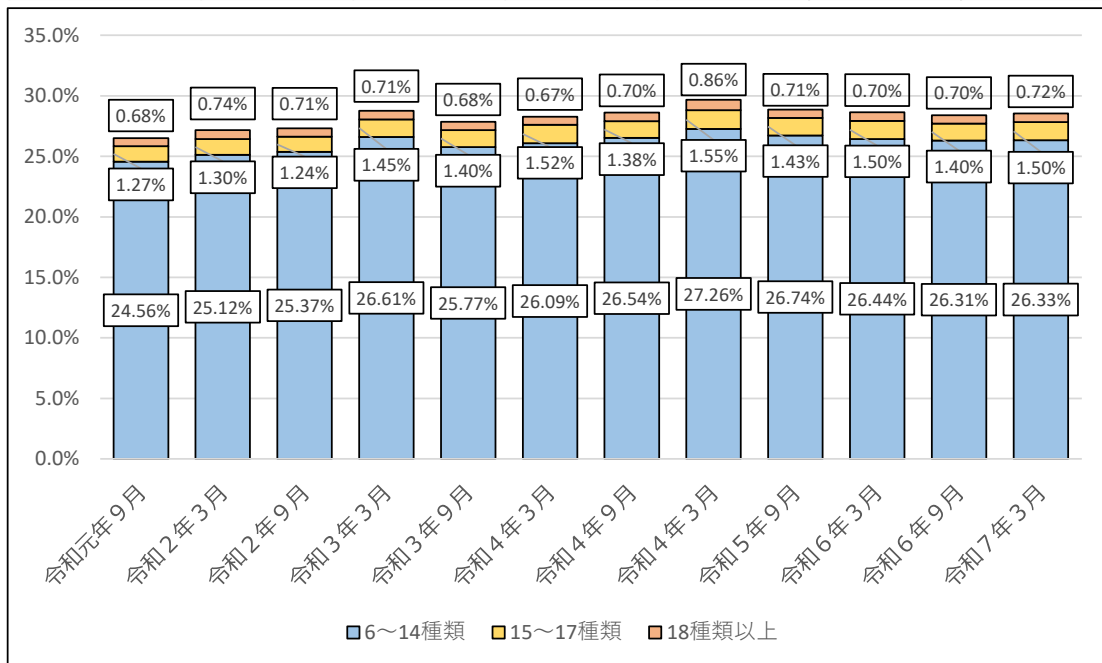
※ 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

(19) 多剤投与者の状況

医科入院外の投薬、歯科入院外の投薬・注射、調剤レセプトより、一月の合計処方日数が14日分以上の者のうち、多剤投与該当者数・割合を算出した。令和元年から令和6年にかけて、多剤投与該当者の割合は全体として微増傾向がみられる。

図表 33 多剤投与者数及び該当者割合

	該当者数			該当者割合		
	6～14種類	15～17種類	18種類以上	6～14種類	15～17種類	18種類以上
令和元年9月	11,113	573	309	24.56%	1.27%	0.68%
令和2年3月	11,363	590	336	25.12%	1.30%	0.74%
令和2年9月	11,252	550	314	25.37%	1.24%	0.71%
令和3年3月	11,800	645	316	26.61%	1.45%	0.71%
令和3年9月	11,205	608	297	25.77%	1.40%	0.68%
令和4年3月	11,343	662	292	26.09%	1.52%	0.67%
令和4年9月	11,345	589	299	26.54%	1.38%	0.70%
令和4年3月	11,653	664	367	27.26%	1.55%	0.86%
令和5年9月	11,328	605	299	26.74%	1.43%	0.71%
令和6年3月	11,202	636	298	26.44%	1.50%	0.70%
令和6年9月	11,018	585	292	26.31%	1.40%	0.70%
令和7年3月	11,026	626	303	26.33%	1.50%	0.72%



集計対象：神戸市における保護動向分析（令和6年）

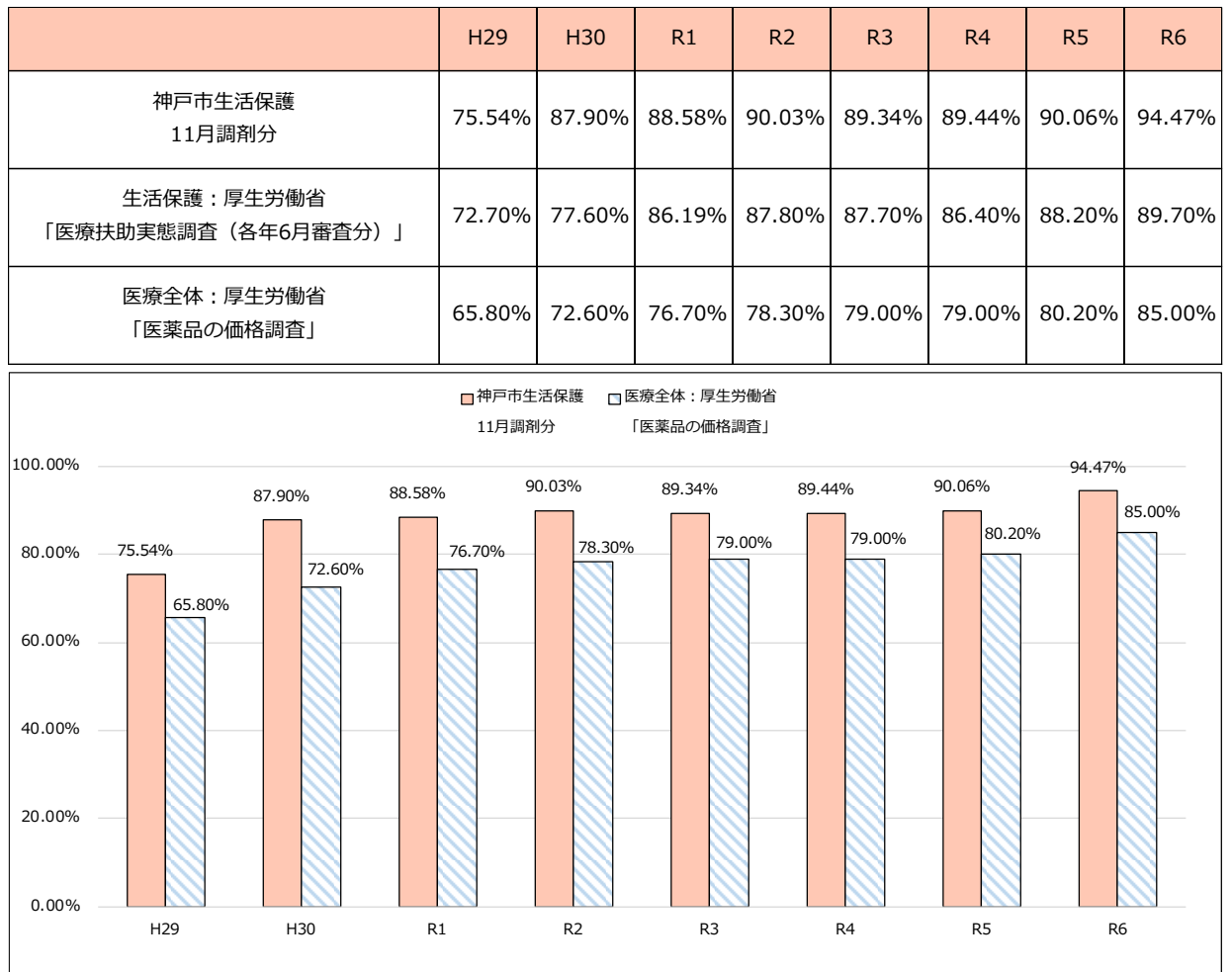
レセプトデータ（生活保護）

※ 医科入院外の投薬、歯科入院外の投薬・注射、調剤レセプトを集計対象とし、成分毎に一月の合計処方日数が14日分以上の内服薬に加え、剤形がその他、注射、歯科用剤、外用薬のうち呼吸器官用薬に該当する薬剤の成分種類数を集計している。

(20) ジェネリック医薬品の使用状況

ジェネリック医薬品の使用率（数量ベース）の推移をみると、平成 30 年度に使用率が急増した。これは、生活保護においては原則ジェネリック医薬品を使用することになったためと考えられる。令和元年度以降は横ばいであったが、令和 6 年度に長期収載品の使用に選定療養が導入されたことにより使用率が大きく増加した。

図表 34 ジェネリック医薬品使用率（数量ベース）の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

出典：厚生労働省「医療扶助実態調査」「医薬品の価格調査」

(21) 入院レセプトの状況

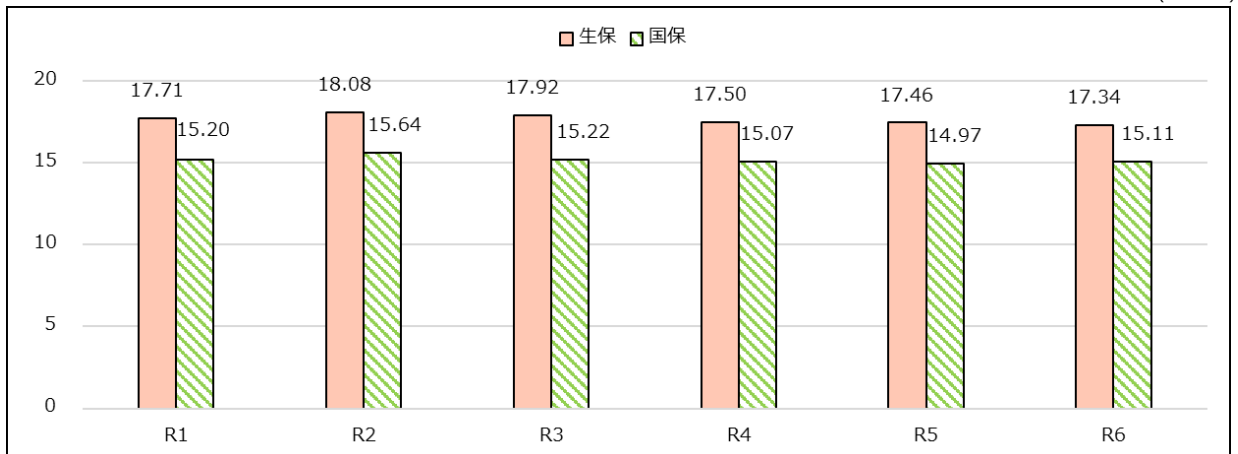
生活保護の全体の合計入院日数及びレセプト件数について、令和6年度を令和元年度と比較すると、減少している。また、75歳未満の入院レセプト1件あたり入院日数は、令和2年度以降減少傾向であるものの、国保と比較すると2日以上長い。

図表 35 年間入院日数

	年代	生活保護			国保		
		合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1件あたり 日数(日)	合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1件あたり 日数(日)
令和元年度	75歳未満	323,716	18,281	17.71	1,146,733	75,436	15.20
	全体	580,864	32,774	17.72	-	-	-
令和2年度	75歳未満	297,344	16,442	18.08	1,048,860	67,080	15.64
	全体	549,854	30,176	18.22	-	-	-
令和3年度	75歳未満	277,045	15,463	17.92	1,050,164	69,006	15.22
	全体	518,761	28,845	17.98	-	-	-
令和4年度	75歳未満	255,628	14,605	17.50	985,861	65,415	15.07
	全体	488,219	28,003	17.43	-	-	-
令和5年度	75歳未満	267,748	15,336	17.46	985,977	65,850	14.97
	全体	521,651	30,249	17.25	-	-	-
令和6年度	75歳未満	260,024	14,999	17.34	965,455	63,904	15.11
	全体	515,171	30,268	17.02	-	-	-

(75歳未満 レセプト1件あたり入院日数)

(単位：日)



集計対象：レセプトデータ (生活保護)

レセプトデータ (国保)

生活保護全年代の疾病別入院日数について、上位の疾病を令和6年度を令和元年度と比較すると、「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「骨折」「脳梗塞」は減少し、「その他の心疾患」「その他の呼吸器系の疾患」は増加した。

**図表 36 疾病別の入院日数
(生活保護 全年代)**

順位	R6					推移	R1			
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)			疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	109,090	3,974	27.5	→	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	125,713	4,573	27.5	
2	骨折	36,596	2,199	16.6	→	骨折	38,126	2,115	18.0	
3	その他の心疾患	22,790	1,457	15.6	↑	脳梗塞	24,215	1,173	20.6	
4	脳梗塞	20,279	1,008	20.1	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	22,839	926	24.7	
5	その他の呼吸器系の疾患	16,875	1,081	15.6	↑	アルツハイマー病	22,516	822	27.4	
6	アルツハイマー病	15,897	592	26.9	↓	その他の心疾患	20,108	1,290	15.6	
7	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15,889	671	23.7	↓	血管性及び詳細不明の認知症	19,324	713	27.1	
8	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	14,065	610	23.1	↑	糖尿病	17,039	1,044	16.3	
9	血管性及び詳細不明の認知症	13,101	492	26.6	↓	その他の呼吸器系の疾患	14,740	882	16.7	
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	13,083	706	18.5	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,973	628	22.3	
11	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,340	950	13.0	→	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,295	1,017	13.1	
12	肺炎	11,522	851	13.5	→	肺炎	12,653	882	14.3	
13	その他の精神及び行動の障害	10,552	433	24.4	→	その他の精神及び行動の障害	11,555	443	26.1	
14	糖尿病	9,932	660	15.0	↓	脳内出血	11,159	484	23.1	
15	脳内出血	9,743	438	22.2	↓	その他の消化器系の疾患	10,449	1,070	9.8	
16	その他の消化器系の疾患	9,429	1,051	9.0	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,917	575	17.2	
17	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	8,996	691	13.0	→	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	9,548	725	13.2	
18	腎不全	8,872	578	15.3	↑	脊椎障害（脊椎症を含む）	8,816	585	15.1	
19	その他の神経系の疾患	8,768	499	17.6	→	その他の神経系の疾患	8,393	532	15.8	
20	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,182	571	12.6	↑	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,376	445	18.8	

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

※推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

75歳未満の生活保護の疾病別入院日数について、令和6年度を令和元年度と比較すると、ほとんどの疾患で入院日数が減少しているが、「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」「骨折」が増加し、上位に精神疾患が多くを占める。また、レセプト1件あたり入院日数について、「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」「その他の悪性新生物〈腫瘍〉」「その他の神経系の疾患」「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」などが増加しているが、国保では、「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」「その他の悪性新生物〈腫瘍〉」は減少している。

（生活保護 75歳未満）

順位	R6					R1			
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)	推移	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	91,917	3,378	27.2	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	109,580	4,002	27.4
2	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14,652	622	23.6	→	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	20,787	851	24.4
3	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	11,415	507	22.5	↑	その他の精神及び行動の障害	10,565	398	26.5
4	骨折	8,983	639	14.1	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	10,165	481	21.1
5	その他の精神及び行動の障害	8,001	322	24.8	↓	糖尿病	8,783	607	14.5
6	脳内出血	6,402	279	22.9	↑	脳梗塞	8,494	453	18.8
7	脳梗塞	5,977	341	17.5	↓	骨折	8,485	570	14.9
8	その他の悪性新生物〈腫瘍〉	5,694	446	12.8	→	その他の悪性新生物〈腫瘍〉	7,357	591	12.4
9	その他の神経系の疾患	4,928	306	16.1	↑	脳内出血	6,651	286	23.3
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,857	284	17.1	↑	血管性及び詳細不明の認知症	6,130	226	27.1
11	糖尿病	4,670	333	14.0	↓	アルツハイマー病	5,676	204	27.8
12	その他の呼吸器系の疾患	4,259	306	13.9	↑	その他の心疾患	5,651	418	13.5
13	その他の心疾患	4,216	352	12.0	↓	その他の神経系の疾患	5,029	336	15.0
14	腎不全	4,021	282	14.3	↑	その他の消化器系の疾患	5,012	563	8.9
15	その他の損傷及びその他の外因の影響	3,815	283	13.5	↑	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,910	297	16.5
16	その他の消化器系の疾患	3,799	476	8.0	↓	その他の損傷及びその他の外因の影響	4,746	339	14.0
17	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,745	322	11.6	↑	その他の呼吸器系の疾患	4,669	321	14.5
18	気管, 気管支及び肺の悪性新生物〈腫瘍〉	3,563	270	13.2	↑	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,353	367	11.9
19	知的障害〈精神遅滞〉	3,412	148	23.1	↑	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,117	298	13.8
20	アルツハイマー病	3,267	118	27.7	↓	慢性閉塞性肺疾患	4,062	178	22.8

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

※推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

(国保)

順位	R6					R1			
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)	推移	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	201,407	7,082	28.4	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	264,779	9,291	28.5
2	その他の神経系の疾患	41,205	2,128	19.4	↑	その他の悪性新生物<腫瘍>	55,552	5,067	11.0
3	骨折	39,868	3,030	13.2	→	骨折	44,816	3,119	14.4
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	38,149	3,743	10.2	↓	その他の神経系の疾患	40,205	2,174	18.5
5	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	35,146	1,196	29.4	↑	脳梗塞	40,195	2,196	18.3
6	脳内出血	31,551	1,393	22.6	↑	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	36,858	1,459	25.3
7	脳梗塞	30,827	1,673	18.4	↓	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	36,454	1,233	29.6
8	てんかん	29,448	1,199	24.6	↑	脳内出血	31,197	1,395	22.4
9	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	27,309	1,153	23.7	↓	てんかん	29,813	1,238	24.1
10	その他の消化器系の疾患	24,837	3,272	7.6	→	その他の消化器系の疾患	27,557	3,841	7.2
11	その他の精神及び行動の障害	20,663	783	26.4	→	その他の精神及び行動の障害	23,460	876	26.8
12	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20,404	1,188	17.2	↑	その他の心疾患	21,691	2,014	10.8
13	その他の呼吸器系の疾患	20,159	1,559	12.9	→	その他の呼吸器系の疾患	19,930	1,477	13.5
14	関節症	19,726	1,445	13.7	↑	糖尿病	18,379	1,262	14.6
15	その他の心疾患	18,014	1,751	10.3	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	18,228	751	24.3
16	知的障害<精神遅滞>	15,614	551	28.3	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	18,056	1,521	11.9
17	その他の損傷及びその他の外因の影響	15,584	1,314	11.9	↓	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	17,910	1,535	11.7
18	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	13,518	571	23.7	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	17,779	1,112	16.0
19	腎不全	13,216	908	14.6	↑	関節症	17,269	1,245	13.9
20	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,893	1,144	11.3	↓	腎不全	15,411	1,014	15.2

集計対象：レセプトデータ(国保)

※推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。

6か月以上の長期入院患者数を令和6年度と令和元年度で比べると、上位2疾病については、患者数は減少したものの順位は変わらなかった。3位には「精神作用物質使用による精神及び行動の障害」を抜いて「その他の心疾患」が入っている。

図表 37 当該年度における6か月以上の入院患者数（疾病別）

順位	R6				R1			
	疾病	6～12か月（人）		推移	疾病	6～12か月（人）		
		内、12か月（人）				内、12か月（人）		
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	285	185	→	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	341	204	
2	アルツハイマー病	43	21	→	アルツハイマー病	61	26	
3	その他の心疾患	40	11	↑	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	59	24	
4	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	39	20	↓	血管性及び詳細不明の認知症	50	22	
5	脳梗塞	38	10	→	脳梗塞	39	11	
6	血管性及び詳細不明の認知症	33	15	↓	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	32	11	
7	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	29	14	↓	その他の心疾患	32	8	
8	その他の精神及び行動の障害	23	13	→	その他の精神及び行動の障害	27	14	
9	その他の悪性新生物<腫瘍>	20	0	↑	骨折	27	3	
10	脳内出血	18	8	↑	糖尿病	25	5	
11	腎不全	18	2	↑	脳内出血	20	8	
12	その他の神経系の疾患	17	9	→	その他の神経系の疾患	19	5	
13	骨折	17	0	↓	その他の悪性新生物<腫瘍>	17	0	
14	その他の呼吸器系の疾患	16	4	↑	慢性閉塞性肺疾患	17	8	
15	慢性閉塞性肺疾患	14	7	↓	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14	0	
16	知的障害<精神遅滞>	12	3	↑	腎不全	13	6	
17	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	11	0	↓	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13	6	
18	糖尿病	11	3	↓	知的障害<精神遅滞>	12	5	
19	高血圧性疾患	11	0	→	高血圧性疾患	12	1	
20	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	10	7	↑	その他の呼吸器系の疾患	12	3	

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

- ※ 1 主たる疾病、もしくは入院の契機となった疾病について集計
- ※ 2 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。
- ※ 3 推移の矢印は、年度比較における順位の変動を示す。
- ※ 4 当該年度における4月～翌年3月のレセプトデータのみで集計している。

4. 健康診査の状況

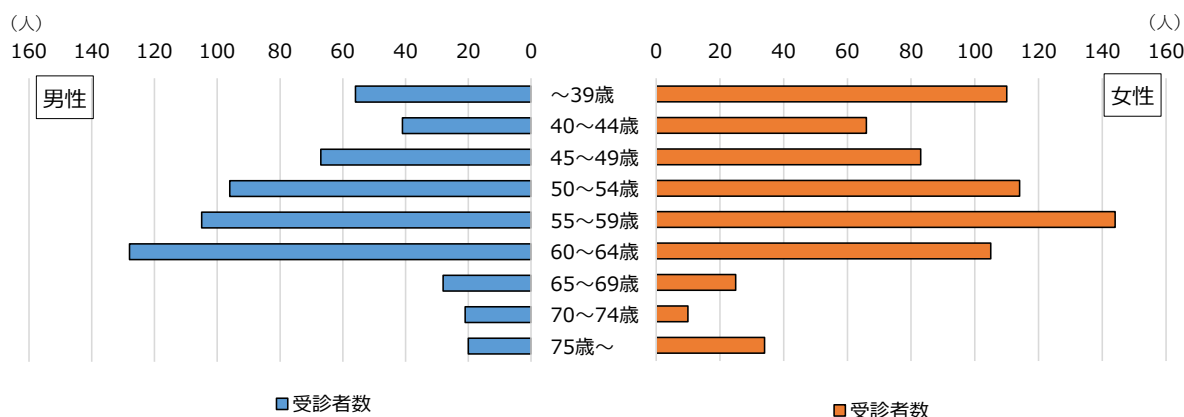
(1) 健康診査の受診状況

令和6年度の健診受診者数は、1,253人であり令和元年度より大幅に増加した。特に64歳以下の受診者数の増加が顕著である。男女別では女性がやや多く、年代別では50～64歳の受診者数が多かった。

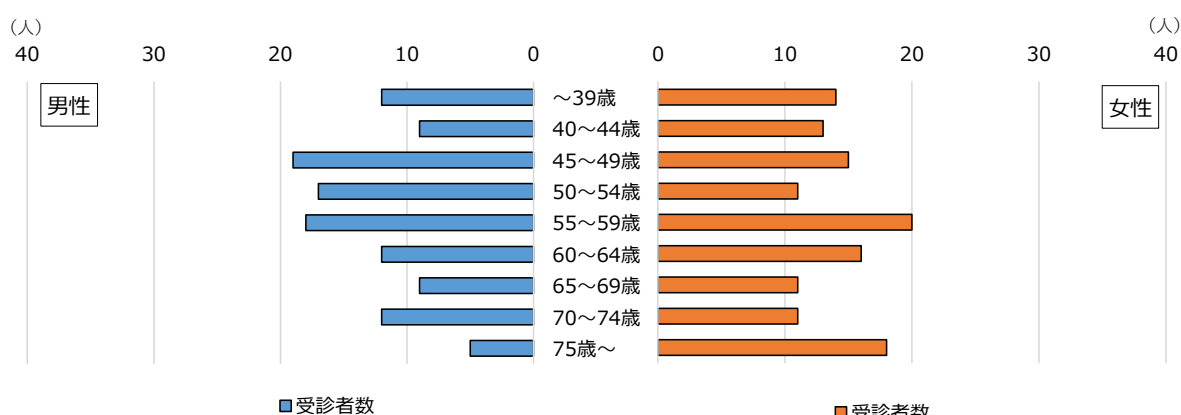
図表 38 健康診査受診状況

	R6						R1					
	男		女		合計		男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～39歳	56	10%	110	16%	166	13%	12	11%	14	11%	26	11%
40～44歳	41	7%	66	10%	107	9%	9	8%	13	10%	22	9%
45～49歳	67	12%	83	12%	150	12%	19	17%	15	12%	34	14%
50～54歳	96	17%	114	16%	210	17%	17	15%	11	9%	28	12%
55～59歳	105	19%	144	21%	249	20%	18	16%	20	16%	38	16%
60～64歳	128	23%	105	15%	233	19%	12	11%	16	12%	28	12%
65～69歳	28	5%	25	4%	53	4%	9	8%	11	9%	20	8%
70～74歳	21	4%	10	1%	31	2%	12	11%	11	9%	23	10%
75歳～	20	4%	34	5%	54	4%	5	4%	18	14%	23	10%
合計	562	100%	691	100%	1,253	100%	113	100%	129	100%	242	100%

(令和6年度)



(令和元年度)



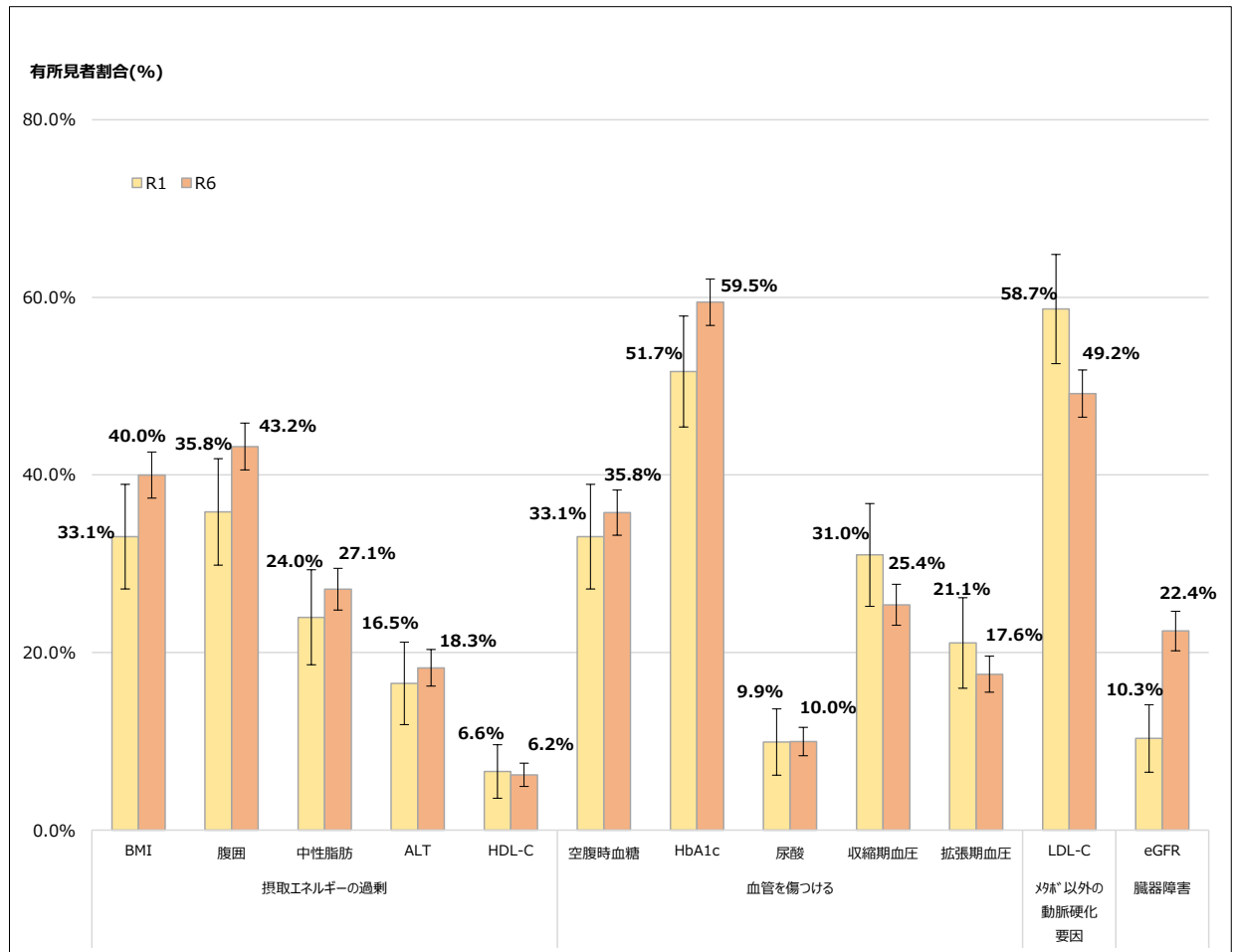
集計対象：神戸市健康診査

(2) 有所見者の割合

令和6年度の有所見者割合を令和元年度と比較するとHDL-C、LDL-C、収縮期・拡張期血圧は若干減少が見られるが、その他の多くの項目で増加している。

特にBMI、腹囲、HbA1c、eGFRで増加が見られ、HbA1cにおいては有所見者の割合が約6割を占める。また、eGFRは有所見者割合が12.1ポイントと大幅に増加している。

図表 39 各種有所見者割合



図表 40 有所見者割合 (95%信頼区間)

(%)

	BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	空腹時血糖
R6	40(37.4-42.6)	43.2(40.6-45.8)	27.1(24.7-29.5)	18.3(16.2-20.4)	6.6(5.3-7.9)	35.8(33.3-38.3)
R1	33.1(27.2-39)	35.8(29.8-41.8)	24(18.7-29.3)	16.5(11.9-21.1)	6.2(3.2-9.2)	33.1(27.2-39)
	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	eGFR
R6	59.5(56.9-62.1)	10(8.4-11.6)	25.4(23.1-27.7)	17.6(15.6-19.6)	49.2(46.5-51.9)	22.4(20.2-24.6)
R1	51.7(45.5-57.9)	9.9(6.2-13.6)	31(25.2-36.8)	21.1(16-26.2)	58.7(52.5-64.9)	10.3(6.5-14.1)

集計対象：神戸市健康診査

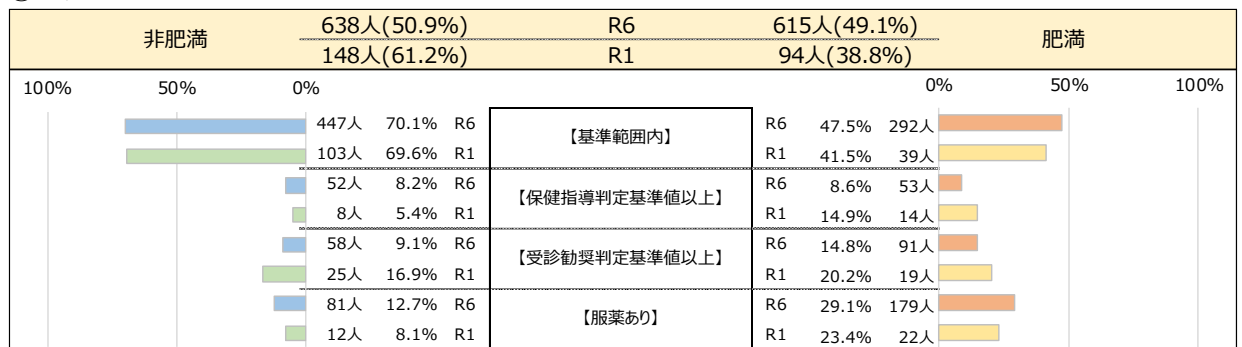
(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況

肥満者（腹囲・BMIが基準値を超える者）と非肥満者において血圧・血糖・脂質の有所見者の検査結果を保健指導判定基準値、受診勧奨判定基準値、血圧・血糖・脂質に関する服薬有無で分類し、リスクの保有の状況を確認した。

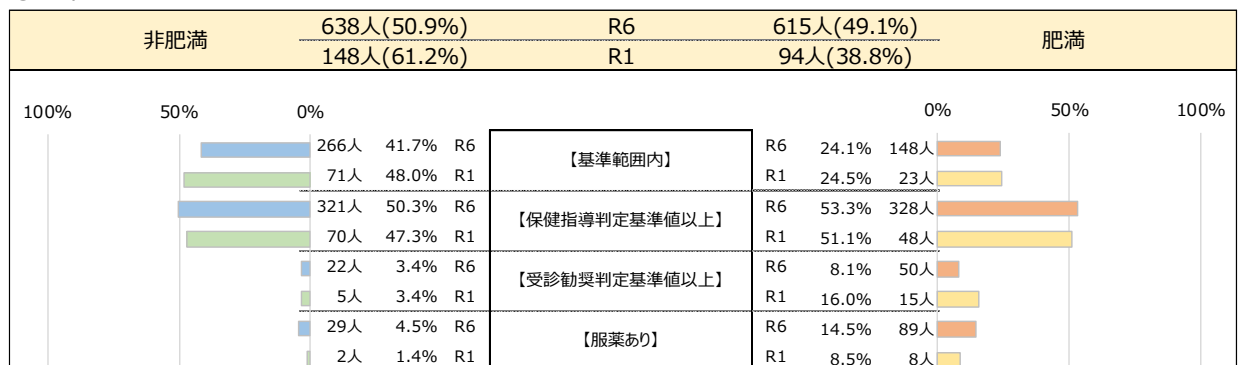
どの対象においても肥満の割合は令和元年度に比べ増加した。また、受診勧奨判定基準値以上の割合は、非肥満者に比べ、血圧、血糖、脂質とも肥満者が高い。肥満者のリスク保有状況について、脂質では肥満者における受診勧奨値以上の割合は令和元年度と比べ令和6年度に減少した。

図表 41 肥満 非肥満のリスク保有状況

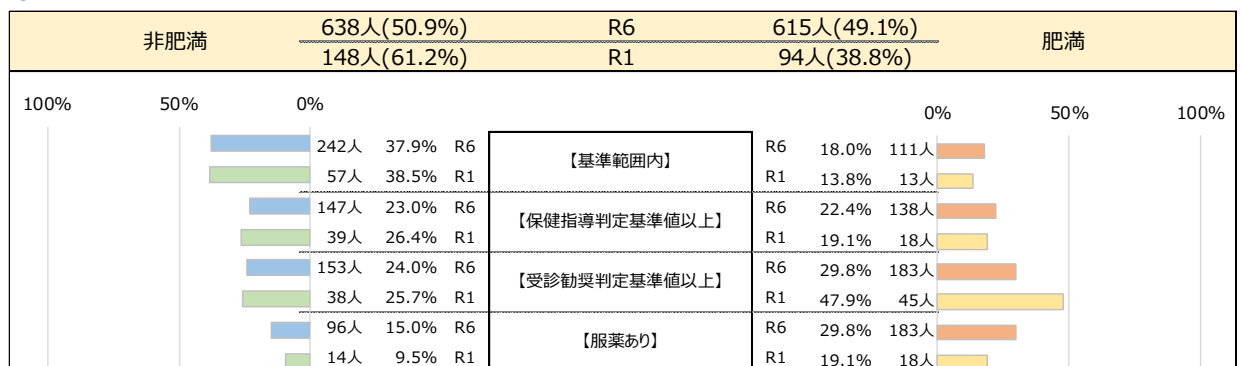
①血圧



②血糖



③脂質



集計対象：神戸市健康診査

※ 各種判定基準値は 厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム（平成30年度版）に基づく。

(4) 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況

eGFR（推算糸球体ろ過量）と尿蛋白検査結果から慢性腎臓病（CKD）重症度分類に従い、リスクの状況を確認した。令和6年度を令和元年度と比較すると、慢性腎臓病のリスクにおいて正常域（図表中：緑色）の割合は減少した。一方で、軽度リスク域以上（図表中：黄色～赤色）の者の割合は増加した。

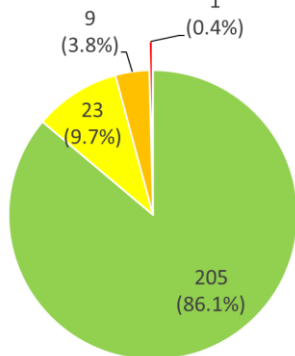
**図表 42 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況
（令和6年度）**

eGFR区分 (mL/分/1.73m ²)			尿蛋白 (-)		尿蛋白 (±)		尿蛋白 (+)		尿蛋白 (2+)		尿蛋白 (3+)	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
G1	正常または高値	≥90	129	10.4%	0	0.0%	6	0.5%	3	0.2%	0	0.0%
G2	正常又は軽度低下	60~89	795	64.2%	2	0.2%	17	1.4%	6	0.5%	0	0.0%
G3a	軽度~中等度低下	45~59	228	18.4%	1	0.1%	11	0.9%	1	0.1%	1	0.1%
G3b	中等度~高度低下	30~44	29	2.3%	0	0.0%	2	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
G4	高度低下	15~29	3	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
G5	末期腎不全	<15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

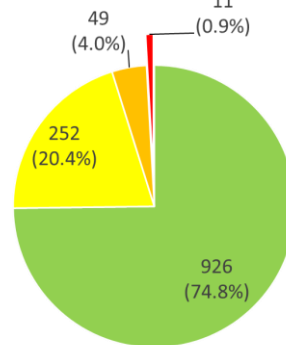
(令和元年度)

eGFR区分 (mL/分/1.73m ²)			尿蛋白 (-)		尿蛋白 (±)		尿蛋白 (+)		尿蛋白 (2+)		尿蛋白 (3+)	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
G1	正常または高値	≥90	44	18.5%	0	0.0%	1	0.4%	2	0.8%	0	0.0%
G2	正常又は軽度低下	60~89	158	66.4%	3	1.3%	4	1.7%	2	0.8%	1	0.4%
G3a	軽度~中等度低下	45~59	18	7.6%	0	0.0%	2	0.8%	1	0.4%	0	0.0%
G3b	中等度~高度低下	30~44	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G4	高度低下	15~29	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G5	末期腎不全	<15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(令和元年度)



(令和6年度)



正常域 : 緑色
 軽度リスク域 : 黄色
 中度リスク域 : オレンジ
 高度リスク域 : 赤色

集計対象：神戸市健康診査

5. 神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画における現状・課題と対応

(1) 現状

被保護者の状況
<ul style="list-style-type: none">■ 平成 29 年度以降、神戸市人口の減少に加え、保護率が減少したため、被保護人員数は大きく減少した。【図表 2 被保護者世帯数及び人員の推移】■ 1人世帯数が増加した。【図表 3 世帯人員別世帯数の推移】■ 世帯構成は高齢者世帯割合、障害者世帯割合が増加し、母子世帯、傷病者世帯が減少した。【図表 4 世帯類型(構成比)の推移】■ 75 歳以上の被保護人員割合が 7.7 ポイント増加し、高齢化が進行している。【図表 5 年齢別被保護人員構成比の推移】
医療費・疾病の状況
<ul style="list-style-type: none">■ 疾病大分類別医療費では、依然として「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「精神及び行動の障害」の順に高い。「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」においては、令和元年度より高額となっている。【図表 10 疾病大分類別医療費】■ 疾病中分類において入院・入院外別でみると、入院では「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」、「骨折」、「心不全」などが含まれる「その他の心疾患」が高額となっているほか、「脳梗塞」「虚血性心疾患」も上位を占める。入院外では「高血圧性疾患」「糖尿病」「その他の心疾患」のほか、「脂質異常症」も上位を占め、「脳梗塞」は医療費の上昇がみられる。【図表 12~14 疾病中分類別医療費等】

生活習慣病の状況

- 「高血圧性疾患」「脳血管疾患」「糖尿病」「虚血性心疾患」の構成割合が高く、全体の約 75%を占めている。【図表 18 生活習慣病の医療費内訳（令和 6 年度）】
- 高血圧性疾患、脳血管疾患、糖尿病の 3 疾病とも若年期の占める割合が国保よりも高い。令和元年度と 6 年度を比較しても、65 歳以上の構成割合が減少し、若年期に占める割合がさらに増加している。【図表 21 生活習慣病（主要な疾病）の医療費年代別割合】
- 高血圧症、脂質異常症、糖尿病の受診状況を令和元年度と令和 6 年度で比較すると、3 疾患併存者割合が 14.6%から 17.0%へ、2 疾患併存患者割合が 19.0%から 20.9%へ、3 疾患いずれかの保有者割合が 51.0%から 55.0%へ増加している。【図表 22 被保護者の医療機関受診状況】
- 糖尿病の主な合併症について、国保と比較すると、糖尿病性腎症が 1.2 倍、糖尿病性網膜症が 1.3 倍、糖尿病性神経障害が 1.8 倍高く、重症患者割合が高い。【図表 24 人工透析・糖尿病合併症のレセプト割合】

健診受診者の状況

- 令和 6 年度の有所見者割合は、令和元年度と比較し HDL-C、LDL-C、収縮期・拡張期血圧は減少したものの、各種項目にて増加している。特に BMI、腹囲、HbA1c、eGFR は顕著な増加が認められた。【図表 39 各種有所見者割合】
- 令和 6 年度を受診勧奨判定基準値以上の割合は、血圧、血糖、脂質とも肥満者が高い。肥満者のリスク保有状況について、令和 6 年度を令和元年度と比較すると血圧、血糖、脂質とも服薬あり割合が増加し、受診勧奨判定基準値以上の割合は減少した。【図表 41 肥満 非肥満のリスク保有状況】
- 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況では、令和 6 年度を令和元年度と比較すると、慢性腎臓病リスクが正常域の者の割合は減少し、軽度リスク域以上の者の割合が増加した。【図表 42 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況】

(2) 健康課題と今後の方向性

健康課題《生活習慣病関連》

<被保護者の状況>

- 被保護人員数は減少しているものの、一人世帯化により単身世帯数が増加した。さらに、高齢化により高齢者世帯数が増加しており、高齢者単身世帯数が増加していると考えられる。

<医療費の状況>

- 被保護人員数が減少しているにも関わらず、医療費は増加し、循環器疾患や悪性新生物が医療費に占める割合は大きい。
- 医療費に占める医科入院の割合は 50%以上であり、統合失調症などの精神疾患や生活習慣病が重症化した疾患である脳梗塞・虚血性心疾患などが上位を占める。
- 医科入院外では、高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が依然上位を占める。
- 国保と比較し、高血圧性疾患、脳血管疾患、糖尿病を罹患している若年層が多い。

<生活習慣病の状況>

- 生活習慣病の若年期に占める割合が増加するとともに、重症化リスクも高まっており、特に糖尿病では合併症を保有するものの割合が国保と比較し大きく高い。生活習慣病の早期発見・早期受診につなげることが重要。また、適切な治療行動（継続通院・服薬、栄養・運動管理）がとられていないことも一因と考えられる。
- 生活習慣病（高血圧・脂質異常症・糖尿病）を併発している者の割合が増加している

<健診受診者の状況>

- 有所見者割合は、eGFR で 12.1 ポイント、HbA1c で 7.8 ポイント増加している。HbA1c 有所見者は、健診受診者の約 6 割を占める。
- 令和元年度と令和 6 年度を比較すると、慢性腎臓病のリスクで正常域の割合が減少し、軽度～高度リスク域の割合が増加した。

取り組みの方向性	対応する事業
<p>■健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保護者の健康状態の把握のため、健診受診者数を増やしていく必要がある。 	<p>(1) 健診受診勧奨</p>
<p>■生活習慣病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器疾患や脳血管疾患などの発症を予防するため、糖尿病・高血圧などの生活習慣病の重症化を防ぐため早期受診を促す。 ・HbA1c 有所見者が約6割を占めるため、人工透析予防の観点からも糖尿病対策は重要である。 ・糖尿病・高血圧・脂質異常症を併発している者の割合が増加、また慢性腎臓病リスク者の割合も増加しており、重症化する前に、生活習慣改善に取り組む必要がある。 ・高齢者単身世帯が増加していると思われるため、個別性を重視した保健指導を実施する。 	<p>(2) 医療機関受診勧奨 (3) 生活習慣病重症化予防</p>

6. 計画に基づく保健事業の最終評価

(1) 健診受診勧奨

事業名	健診受診勧奨
目的	健診受診率の向上による生活習慣病発症予防、早期発見・早期治療による健康寿命の延伸
目標	生活習慣病の患者数の減少
事業内容	全被保護世帯への健診制度の周知、重点勧奨対象者への健診受診券送付及び健診受診勧奨等
対象者	全被保護世帯（うち重点勧奨対象者：次のすべてを満たす対象者①30～64歳②社会保険、更生医療の適用者以外③施設入所者、長期入院者以外）

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標	評価					
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保した。					
	関係機関との連携	各関係機関と協議・調整を実施した。					
	実施体制	ケースワーカーと健康相談員が連携し、健診受診勧奨を行うことができた。					
プロセス	評価指標	評価					
	事業周知の方法	全被保護者世帯への健診制度の周知を予定していたが、コロナ禍により神戸市市民健診にも影響が出ることが想定されたため、重点勧奨者に対してのみ事業周知及び事業勧奨の案内チラシを健診受診券と一斉発送を行ったが、一定の周知につながった。コロナ収束以降も、重点勧奨者に対しての一斉発送を継続して行った。					
	健診受診券の発行方法	毎年8月頃に重点勧奨者に対して、がん検診（大腸がん・胃がん・乳がん）とセットになった健診受診券を一斉発送した。					
	受診勧奨の方法	受診券一斉発送後、ケースワーカーと健康相談員が連携し、個別に受診勧奨が行えており、方法としては適切であった。					
アウトプット	評価指標		評価				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	受診券一斉送付数		12,252	12,640	12,816	12,725	12,610
	健診受診件数		1,167	1,141	1,151	1,221	1,253
	個別受診勧奨数		2,788	1,994	2,209	1,948	2,368
アウトカム	評価指標	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	健診受診率	10%	9.5%	9.0%	9.0%	9.6%	9.9%

※目標値…令和元年度計画策定当初は7%だったが、令和2年度に達成したことにより、令和4年度中間評価時に新たに10%に設定

※健診受診率…健診受診件数（受診券一斉送付対象者ではない受診者も含む）／受診券一斉送付数

考察

考察
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との調整を行ったことにより、すべての重点勧奨者へ健診受診券を送付したこと、ケースワーカーと健康相談員が連携し個別勧奨を実施したことが、健診受診率の上昇につながった。目標である10%には至らなかったが、年々受診率が向上している。 【図表38 健康診査受診状況】より健診受診者数は令和3年度より増加し、重点勧奨者の年代では、その他の年代と比較し、高い受診率を示しているため、健診受診率向上の取り組みとして効果的だったと考える。 健診受診率は、受診券一斉送付対象者（重点勧奨者）以外の受診者も含む全体の健診受診者数を、受診券一斉送付数で除しており、実態より高い受診率となっていた。重点勧奨者の健診受診件数を分子として算出した結果、令和6年度は6.9%となった。
事業継続の有無・見直しと今後の方向性について
<ul style="list-style-type: none"> 適切な健康管理支援の実施において、被保護者の健康課題を把握することは必要不可欠であり、健康状態を効率的に把握できる健診の重要性は高い。また、生活習慣病の早期治療・重症化予防を行う医療機関受診勧奨事業や生活習慣病重症化予防事業の効果をあげるため、事業を継続しさらなる健診受診率の向上を目指す。 受診率向上に向けて健診受診者・未受診者の特徴や各区ごと受診状況等を分析・比較し、勧奨方法の見直しや効率化を検討する。 健診受診率は重点勧奨者の健診受診件数を分子として算出し、目標値は令和3年度厚生労働省発表の被保護者の受診率（※）を参考に、7.6%とする。（※）令和3年度地域保健・健康増進事業報告及び2021年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ

(2) 医療機関受診勧奨

事業名	医療機関受診勧奨
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理
目標	適正受診による重症化予防
事業内容	健診結果「要医療」者への受診勧奨、治療中断者等への受診勧奨、継続受診の状況確認
対象者	健診の結果「要医療」と判定された者及び、治療中断者（次の①～②いずれかに該当）①糖尿病の投薬治療を受けており、高脂血症、高血圧の傷病名があるが直近の3か月以上で当該疾病のレセプトがない者、②糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）の病名があるが、直近の3か月以上で当該疾病のレセプトがない者

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標		評価				
	予算の確保		事業執行に必要な予算を十分に確保した。				
委託事業者との連携		委託による抽出を行うことでの確かな勧奨リストの作成ができた。					
実施体制		ケースワーカーと健康相談員が連携し、医療機関受診勧奨を行うことができた。					
プロセス	評価指標		評価				
	受診勧奨の方法		ケースワーカーと健康相談員が連携しながら、訪問または電話にて受診勧奨を行った。必要に応じて、通院同行するなど、方法としては適切であった。				
	受診勧奨の時期		令和3年度より毎年6月・11月と2回に分けて、リストを抽出し、受診勧奨を行っており、勧奨期間や勧奨回数を十分に確保することができ、適切であった。				
	保健師との連携		適宜、必要な情報連携は行ったが、新型コロナウイルスの影響もあり、十分な連携ができたとは言えない。				
アウトプット	評価指標		評価				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	受診勧奨件数		19件	120件	124件	88件	102件
	受診勧奨率		95.0%	98.4%	88.5%	83.4%	82.9%
	2か月後の受診確認件数		3件	42件	33件	22件	19件
アウトカム	評価指標	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	医療機関受診率	100%	15.8%	35.0%	26.6%	25.0%	18.6%
	継続受診率	80%以上	52.2%	43.5%	37.7%	38.6%	43.8%
	治療中断/要医療	—	54.5%/0%	62.5%/19.6%	58.8%/17.1%	52.4%/24.4%	49.2%/32.3%

※受診勧奨率…抽出数から対象外の者を除いた数の内、受診勧奨した者の割合
 ※2か月後の受診確認件数…受診勧奨から2か月後までに受診したことを確認できた件数
 ※医療機関受診率…受診確認件数/受診勧奨件数
 ※継続受診率…受診勧奨した者の内、勧奨後6か月分のレセプトに生活習慣病の病名がある者の割合

考察

<p>・令和3年度より2回の受診勧奨を実施することで、早期治療開始や治療中断期間の短縮を図った。よって受診勧奨件数が令和3年度で大きく増えている。令和5年度、6年度に受診勧奨件数が減少しているのは、すでに通院開始しているケースや保健師が介入しているケースが多かったためである。</p> <p>・令和2年度以降、受診勧奨率80%以上を維持しており、積極的に勧奨を実施した。</p> <p>・医療機関受診率は約15%～約35%と低く、継続受診率においても約35%～約50%と目標値を大きく下回る。</p> <p>・継続受診率について、治療中断の者と要医療の者とを比較したところ、明らかに要医療の者の方が受診率が低かった。</p>
--

事業継続の有無・見直しと今後の方向性について

<p>・健康課題分析では、生活習慣病や生活習慣病が重症化した疾患が課題となっていることから、早期受診や受診継続を促すため本事業は継続する。</p> <p>・医療機関受診率の目標値は、本事業のアウトプットや、神戸市国保の実態を見ると、非常に高い水準を設定していることから、目標値及び評価方法の検討を行う。医療機関受診率は兵庫県・神戸市国保の目標値を参考に、50%に下方修正する。</p> <p>・継続受診率は受診勧奨をした者の内、勧奨後6か月分のレセプトに生活習慣病の病名がある者の割合を算出しているが、継続支援についてはプロセスに取り組みとして入れておらず、受診したものの治療までは必要がない場合や、経過観察となるケースもあるため、一概に効果は測れない。一方で年2回対象者を抽出していることから受診を継続出来ていないケースは再抽出される。よって一定のフォローはできていると考え、次期計画では継続受診率を評価指標から除く。</p> <p>・精神疾患や引きこもりなど、なかなか受診につながらない処遇困難ケースが一定数いる。処遇困難ケースについては区の保健師・ケースワーカー・健康相談員等でチームアプローチしていく必要がある。</p> <p>・勧奨後の受診率が治療中断の者より要医療の者の方が明らかに低いため、未受診者に対しては通院同行も含め、より丁寧な支援をしていく。</p>
--

(3) 生活習慣病重症化予防

事業名	生活習慣病重症化予防
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理支援
目標	介入による行動変容100件/年
事業内容	生活習慣病重症化予防の対象者の把握、保健指導が必要な者への対応、生活習慣病の重症化予防のための指導に関する研修
対象者	主に糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の者、健診結果から生活指導や保健指導が必要だと考えられる者、治療コントロール不良者

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標	評価					
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保した。					
	委託事業者との連携	対象者の抽出や訪問型保健指導の実施において、それぞれ委託事業者と適切に連携することができた。					
	実施体制	委託先事業者とケースワーカー及び健康相談員が連携し、適切に事業を実施することができた。					
プロセス	評価指標	評価					
	事業勧奨の方法	レセプトデータや健診結果から生活習慣病重症化予防の対象者を抽出し、ケースワーカーと健康相談員が連携し、被保護者への訪問型保健指導への参加勧奨を電話や訪問により行うことができ、方法としては適切であった。					
	事業実施の方法	訪問型保健指導の参加者に対して、委託事業者と連携し、適切に保健指導を実施した。また生活習慣病予防のための生活指導に関する知識の向上のため、健康相談員を中心とした研修を年2回適切に実施することができた。					
アウトプット	評価指標	評価					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	対象者候補者数	309人	1,644人	1,839人	1,846人	2,253人	
	対象者数	59件	561件	684件	431件	538件	
アウトカム	評価指標	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	事業参加者数	—	32人	50人	63人	63人	71人
	介入による行動変容件数	—	28件	44件	44件	44件	55件
	介入による行動変容率	100%	87.5%	88.0%	69.8%	69.8%	77.5%

※対象候補者数…レセプトデータや健診結果から抽出された対象者数

※対象者数…対象候補者数のうち、除外要因にあてはまる者（既に他事業にて保健指導実施中の者、導入により精神症状悪化が見込まれる者等）を除いた件数

※介入による行動変容率…介入による行動変容件数/事業参加者数

※計画策定当初の目標値は介入による行動変容件数100件/年であったが、中間評価時に目標値の見直しを行い、介入による行動変容率100%に変更した。

考察

考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーカーと健康相談員が連携することで被保護者への効果的な参加勧奨を実施し、事業参加者を増やすことができています。 ・一方で、介入による行動変容件数も増加しているが、行動変容率は目標の100%には至っていない。なお、行動変容件数の算出方法について、令和3年度以前は、食事・運動・受診服薬行動など項目ごとに実行できたか否かを5段階評価し、実行できた項目があれば行動変容されたものと把握していたが、令和4年度以降は行動変容ステージモデルによる評価を導入した。令和3年度から令和4年度にかけて行動変容率が減少したことについて、評価指標の変更も一因であると考えられる。令和4年以降は行動変容件数・割合ともに増加傾向にある。 ・令和元年度から令和6年度にかけて、人工透析のレセプト件数が増加し、糖尿病性腎症の糖尿病合併症レセプト割合も増加している【図表24 人工透析・糖尿病合併症のレセプト割合】。また、慢性腎臓病においては、重症度G3a以上のリスク保有者割合が増加し、重症化リスクが高くなっている【図表42 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況】。糖尿病性腎症・慢性腎臓病の者の重症化を防ぐため、引き続き重症化予防の取り組みは必要である。
事業継続の有無・見直しと今後の方向性について
<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題分析より、糖尿病合併症として糖尿病性腎症のレセプト件数は増加傾向にあり、健診結果でも軽度～高度リスク者の割合が増加しているため、引き続き本事業を実施し、重症化の予防に取り組む。 ・重症化リスクを保有する者の割合が増加していることから、事業参加者数を増加させる必要がある。事業対象者のうち勧奨を実施した件数を把握した上で勧奨方法の見直しを検討し、事業参加者数の増加を目指す。 ・介入による行動変容率の向上に向けて、支援を実施したにもかかわらず行動変容しなかった者の特徴の分析等を行い、委託事業者と連携しながら、より効果的な実施方法を検討する。 ・本事業の評価方法について、介入による行動変容率以外の評価指標の導入等の検討を行う。

(4) その他適正化の取り組み

事業名	事業内容																														
頻回受診者対策	<p>1. 頻回受診者の定義</p> <p>①年4回の把握月に15日以上受診している者</p> <p>②3か月（把握月＋前月＋前々月）で40日以上受診している者</p> <p>※①②をともに満たす者を受診状況把握対象者とする</p> <p>※個別に主治医や嘱託医に確認し指導の必要ありとされた者を頻回受診者とする</p> <p>2. 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院台帳を整備 ・嘱託医、主治医に通院頻度について確認 ・必要な頻度を超える通院が行われている者に対し、ケースワーカーが個別に指導 ・指導以後の改善状況を確認し、改善していない場合は指導を継続 <p>3. 結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診状況把握対象者 (A)</td> <td>446人</td> <td>339人</td> <td>357人</td> <td>302人</td> <td>342人</td> </tr> <tr> <td>適正受診指導対象者 (B)</td> <td>81人</td> <td>59人</td> <td>34人</td> <td>50人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>改善者数 (C)</td> <td>32人</td> <td>38人</td> <td>16人</td> <td>33人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>改善者割合 (C/B)</td> <td>40%</td> <td>64%</td> <td>47%</td> <td>66%</td> <td>52%</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	受診状況把握対象者 (A)	446人	339人	357人	302人	342人	適正受診指導対象者 (B)	81人	59人	34人	50人	44人	改善者数 (C)	32人	38人	16人	33人	23人	改善者割合 (C/B)	40%	64%	47%	66%	52%
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																										
受診状況把握対象者 (A)	446人	339人	357人	302人	342人																										
適正受診指導対象者 (B)	81人	59人	34人	50人	44人																										
改善者数 (C)	32人	38人	16人	33人	23人																										
改善者割合 (C/B)	40%	64%	47%	66%	52%																										
重複受診・重複服薬者及び多剤投与者対策	<p>レセプト点検で重複診療・重複処方及び多剤投与の疑いのあるレセプトを抽出し、福祉事務所ケースワーカーが受診医療機関への連絡や対象者への指導を実施した。指導後、レセプトを確認し、改善状況を把握した。</p> <p>※多剤投与者対策は令和5年度より事業を開始した。</p>																														
長期入院患者退院支援	<p>病状的に退院可能であるにも関わらず、長期入院になっている患者に対して、退院支援員が対象者の病状聴取及び退院阻害要因を把握、対象者への助言・指導、関係機関との連絡調整など、退院後の生活が安定できるよう積極的な退院支援を行った。</p> <p>【結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院支援対象数</td> <td>313人</td> <td>328人</td> <td>296人</td> <td>304人</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>退院者数</td> <td>32人</td> <td>46人</td> <td>44人</td> <td>32人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>10%</td> <td>14%</td> <td>15%</td> <td>11%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>効果額</td> <td>67,254千円</td> <td>94,145千円</td> <td>83,608千円</td> <td>54,432千円</td> <td>58,873千円</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	退院支援対象数	313人	328人	296人	304人	283人	退院者数	32人	46人	44人	32人	32人	割合	10%	14%	15%	11%	11%	効果額	67,254千円	94,145千円	83,608千円	54,432千円	58,873千円
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																										
退院支援対象数	313人	328人	296人	304人	283人																										
退院者数	32人	46人	44人	32人	32人																										
割合	10%	14%	15%	11%	11%																										
効果額	67,254千円	94,145千円	83,608千円	54,432千円	58,873千円																										
医療機関個別協議	生活保護指定医療機関との個別協議を行った。																														
レセプト点検	医療扶助レセプトの資格、内容について点検した。																														
COPD対策 (禁煙指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の機会に、禁煙指導を併せて行った。 ・禁煙ができない者のうち、咳・息切れがあり、痩せなどの体重減少が見られる者に対し、早期に呼吸器内科を受診させるなど支援を行った。 																														
PHRの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・MY CONDITION KOBE（マイコンディション神戸）などPHR（パーソナルヘルスレコード）の活用を奨励した。 <p>※令和4年度で事業が終了した。</p>																														

7. データヘルス計画策定時の課題と最終評価を踏まえた今後の方向性

(1) 健診受診勧奨

事業名	健診受診勧奨
目的	健診受診率の向上による生活習慣病発症予防、早期発見・早期治療による健康寿命の延伸
目標	生活習慣病の患者数の減少
事業内容	健診制度の周知、重点勧奨対象者への健診受診券一斉送付及び健診受診勧奨
対象者	生活習慣病の治療中の方を除く全被保護者（うち重点勧奨対象者：次のすべてを満たす対象者①30～64歳②社会保険、更生医療の適用者以外③施設入所者、長期入院者以外）

今後の計画

ストラクチャー	評価指標	計画		
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保する。		
	関係機関との連携	健診受診会場等、各関係機関と協議・調整を実施する。		
	実施体制	ケースワーカーと健康相談員が連携し、健診受診勧奨を行う。		
プロセス	評価指標	計画		
	事業周知の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・健診チラシを用いて、個別勧奨や新規保護世帯への受診勧奨を実施 ・重点勧奨者へがん検診（大腸がん・胃がん・乳がん）とセットになった健診受診券を一斉送付する 		
	受診勧奨の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーカーと健康相談員が連携し、優先度に応じて個別勧奨を行う ・重点勧奨者へ来所時や電話・訪問・手紙にて受診勧奨を行う ・新規保護開始世帯へ健診チラシを配布し、受診勧奨を実施 		
アウトプット	評価指標		算出方法	
		R6年度実績		
	被保護者数	41,872		神戸市における保護動向分析より
	受診券一斉送付数	12,610		重点勧奨者へがん検診とセットになった健診受診券を一斉送付した件数
	健診受診件数	1,253		健診受診件数
	一斉送付した者の健診受診件数	865		重点勧奨者の受診件数
	個別受診勧奨数	2,368	ケースワーカーと健康相談員における勧奨数	
アウトカム	評価指標	R6年度実績	実施目標	算出方法
	一斉送付した者の受診率	6.9%	7.6%	一斉送付した者の健診受診件数 / 受診券一斉送付数

※R6年度実績…第1期計画とは算出方法を変更

(2) 医療機関受診勧奨

事業名	医療機関受診勧奨
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理
目標	適正受診による重症化予防
事業内容	健診結果「要医療」者への受診勧奨、治療中断者等への受診勧奨
対象者	健診の結果「要医療」と判定された者及び、治療中断者（次の①～②いずれかに該当）の内、ケースワーカー等が受診勧奨が必要と判断した者 ①糖尿病の投薬治療を受けており、高脂血症、高血圧の傷病名があるが直近の4か月以上で当該疾病のレセプトがない者、②糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）の病名があるが、直近の4か月以上で当該疾病のレセプトがない者

今後の計画

ストラクチャー	評価指標		計画	
	予算の確保		事業執行に必要な予算を確保する。	
委託事業者との連携		年に2回、医療機関受診勧奨者リストを抽出し、指導結果の分析をする。		
実施体制		抽出したリストを各区に送付し、健康相談員やケースワーカーにより対象者選定・受診勧奨を実施する。		
プロセス	評価指標		計画	
	受診勧奨の方法		健康相談員やケースワーカーが電話・面談・訪問・文書送付等により受診勧奨する。	
	受診勧奨の時期		年2回抽出する医療機関受診勧奨リストを各区に送付してから約2か月間の間に勧奨。	
	保健師との連携		リストの内、保健師による事後指導が行われているケースは対象から除外。処遇困難ケースにチームアプローチ。	
アウトプット	評価指標		計画	
		R6年度実績値	目標値	算出方法等
	受診勧奨件数	102件	-	健診の結果「要医療」と判定された者及び、治療中断者の内、ケースワーカー等が受診勧奨が必要と判断した者
	受診勧奨率	82.9%	100%	抽出数から対象外の者を除いた数の内、受診勧奨した者の割合
	受診確認件数	19件※1	-	受診勧奨した者の内、勧奨後6か月分のレセプトに生活習慣病の病名がある者の件数
アウトカム	評価指標		計画	
		R6年度実績値	目標値	算出方法等
医療機関受診率	18.6%※2	50.0%	受診確認件数／受診勧奨件数	

※1 受診勧奨から2か月後までに受診したことを確認できた件数。第2期では算出方法を変更する。

※2 第2期では受診確認件数の算出方法を第2期では変更するため、医療機関受診率の算出基準も変わる。

(3) 生活習慣病重症化予防

事業名	生活習慣病重症化予防			
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理支援			
目標	介入による行動変容率100%			
事業内容	生活習慣病重症化予防の対象者の把握、保健指導が必要な者への対応、生活習慣病の重症化予防のための指導に関する研修			
対象者	主に糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の者、健診結果から生活指導や保健指導が必要だと考えられる者、治療コントロール不良者			
今後の計画				
ストラクチャー	評価指標	計画		
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保する。		
	委託事業者との連携	委託事業者と連携し、年1回、訪問型保健指導対象候補者リストを作成する。また、訪問型保健指導の実施において、事業勧奨により参加の同意を示し、かつ主治医の同意も得られた対象者について、委託事業者と連携を図り、適切な保健指導を実施する。さらに、生活習慣病の重症化予防のための指導に関する研修の実施にあたって、委託事業者と連携を図る。		
	実施体制	委託事業者とケースワーカー及び健康相談員が連携し、事業勧奨及び保健指導を実施する。		
プロセス	評価指標	計画		
	事業勧奨の方法	レセプトデータや健診結果から生活習慣病重症化予防の対象候補者を抽出し、ケースワーカーと健康相談員が連携し、被保護者への訪問型保健指導への参加勧奨を電話や訪問により行う。		
	事業実施の方法	訪問型保健指導の参加者に対して、委託事業者と連携し、原則月1回以上、6カ月間の訪問による保健指導を実施する。また生活習慣病予防のための生活指導に関する知識の向上のため、健康相談員を中心とした研修を年2回適切に実施する。		
アウトプット	評価指標	計画		
		R6年度実績	目標値	算出方法等
	対象候補者数	2253人	-	レセプトデータや健診結果から抽出された対象者数
	対象者数	538件	-	対象候補者数のうち、除外要因にあてはまる者（既に他事業にて保健指導実施中の者、導入により精神症状悪化が見込まれる者等）を除いた件数
	事業勧奨数	-	-	事業対象者のうち、電話や訪問により参加勧奨を実施した件数
アウトカム	評価指標	R6年度実績	目標値	算出方法等
	事業参加者数	71人	-	訪問型保健指導に参加した人数
	介入による行動変容件数	55件	-	事業参加者のうち、行動変容ステージモデルをもとに把握された行動変容件数
	介入による行動変容率	77.5%	100.0%	介入による行動変容件数/事業参加者数

(4) その他適正化の取り組み

事業名	事業内容
頻回受診者対策	<p>1. 頻回受診者の定義</p> <p>①年4回の把握月に15日以上受診している者</p> <p>②3か月（把握月＋前月＋前々月）で40日以上受診している者</p> <p>※①②をともに満たす者を受診状況把握対象者とする</p> <p>※個別に主治医や囑託医に確認し指導の必要ありとされた者を頻回受診者とする</p> <p>2. 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院台帳を整備 ・囑託医、主治医に通院頻度について確認 ・必要な頻度を超える通院が行われている者に対し、ケースワーカーが個別に指導 ・指導以後の改善状況を確認し、改善していない場合は指導を継続
重複受診・重複服薬者及び多剤投与者対策	<p>レセプト点検で重複診療・重複処方及び多剤投与の疑いのあるレセプトを抽出。福祉事務所ケースワーカーが受診医療機関への連絡や対象者への指導を実施。指導後、レセプトを確認し、改善状況を把握する。</p>
長期入院患者退院支援	<p>病状的に退院可能であるにも関わらず、長期入院になっている患者に対して、退院支援員が対象者の病状聴取及び退院阻害要因を把握、対象者への助言・指導、関係機関との連絡調整など、退院後の生活が安定できるよう積極的な退院支援を行う。</p>
後発医薬品使用促進	<p>「生活保護法」の「第三十四条の3」に基づき、後発医薬品使用割合の増加を目的として、各指定薬局において、被保護者に対する後発医薬品と取り組みについての説明、先発医薬品を調剤する事情の確認と記録及び年に1回先発医薬品調剤状況の調査を行う。</p>
他法活用対策	<p>年に1回、身体障害者手帳の取得状況をもとに「自立支援医療適用確認台帳」を整備し、他法他施策の適正な活用を点検している</p> <p>他法活用が適切に行われていないレセプトを抽出し、適正な活用を促す。</p>
医療機関個別協議	<p>「生活保護法による医療扶助運営要領について」の「第一 医療扶助運営方針」及び「第六 指導及び検査」に基づき、被保護者の援助が効果的に行われるよう福祉事務所と指定医療機関の相互の協力体制を確保することを目的として、被保護者の医療給付に関する事務及び診療状況等について診療録その他の帳簿書類等を閲覧し、懇談協議を行う。</p>
レセプト点検	<p>診療報酬等明細書（レセプト）について、資格（支給期間、他法他施策の活用等）及び内容（請求点数等が社会保険診療報酬基準に基づいているか、病名・処方方法・薬価基準等が相互に整合しているか、連続月または一定期間内に重複して算定できない項目の請求が行われていないか等）について点検を行う。</p>

8. データヘルス計画の推進及び計画の見直し

(1) 最終評価及び計画の見直し

計画の最終年度である令和 13 年度および中間時点にあたる令和 10 年度に、本計画書に定めた保健事業の実施計画について、事業ごとに結果（アウトカム）、事業実施量（アウトプット）、過程（プロセス）、体制・構造（ストラクチャー）をそれぞれ検証のうえ評価を行い、次期計画の策定につなげる。

また、計画の期間中においても、目標の達成状況や事業の実施状況の変化などにより、必要に応じて見直しを行う。

(2) 評価及び計画の公表・周知

本評価及び計画を神戸市ホームページに掲載して広く周知を図る。また、実施計画を改定した場合も同様とする。

(3) 個人情報の保護

本計画書に定めた保健事業の実施にあたっては、個人情報保護の観点から下記の規定を遵守する。

- ・ 個人情報保護法の施行等に関する条例（2022 年 12 月、条例第 17 号）
- ・ 個人情報保護法の施行等に関する条例施行規則（2023 年 3 月、規則第 63 号）
- ・ 神戸市情報セキュリティ基本方針
(平成 15 年 1 月 27 日制定 令和 7 年 4 月 1 日改正)
- ・ 神戸市情報セキュリティ対策基準
(平成 15 年 1 月 27 日制定 令和 7 年 4 月 1 日改正)

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）

第1期	令和2年度～令和7年度	最終評価
第2期	令和8年度～令和13年度	計画策定

作成：神戸市福祉局暮らし支援課
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1
電話：078-331-8181